

浜松医科大学





浜松医科大学有機溶剤及び特定化学物質

作業環境測定業務

仕様書

2019～2020 年度
(2年間)

2019年5月作成

課 長	課長補佐	係 長	係 員
			

1. 業務名

浜松医科大学有機溶剤及び特定化学物質作業環境測定業務

2. 測定場所

静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号 国立大学法人浜松医科大学構内

詳細は、別紙1及び別図参照。なお、講座等の都合により、測定中止、追加及び測定対象物質の変更が生じる場合がある。また、国立大学法人浜松医科大学（以下「本学」という。）基礎臨床研究棟改修工事等に伴い作業場が移転し、前期と後期の測定場所が異なる場合には、事前に本学から情報を提供する。また、作業場の移転等に伴う本来の作業場以外における測定場所の情報も同様に提供する。

3. 業務期間

令和元年6月24日から令和3年3月31日まで

測定時期は令和元年6月（解剖実習室）、令和元年7月～8月（前期）、及び令和2年1月～2月（後期）を初年度予定、次年度においても初年度と同様の月を予定とし、測定日時については本学の指示に従うこと。

なお、講義実習棟B1階注入室については、測定日時が前日に決定する場合がある。

また、講座等の都合により前期が8月又は後期が2月までに終了しない場合は、それぞれ9月と3月以降の測定に応じること。

4. 契約事項

本仕様書に定めるもののほか、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）、有機溶剤中毒予防規則（昭和47年労働省令第36号）及び特定化学物質障害予防規則（昭和47年労働省令第39条）その他関係法令を遵守することとし、国立大学法人浜松医科大学契約事務規程及び国立大学法人浜松医科大学物品供給契約等基準によるものとする。

5. 請負代金の支払

請負代金は、各期の測定作業終了後に支払うものとし、適正な支払請求書を受領した日の翌日から90日以内に本学から支払うものとする。なお、支払請求書は附属病院棟の測定分とそれ以外の建物の測定分を分けて記載すること。

6. 試料採取法及び分析方法

別紙2-1、2-2に記載された試料採取方法及び分析方法のほか、作業環境測定法に基づく「作業環境測定基準」とし、詳細は「作業環境測定ガイドブック」（公益社団法人日本作業環境測定協会発行）によるものとする。

なお、測定点数は、1 作業場当たり A 測定 6 点、B 測定 1 点の計 7 点を原則とする。

また、講義実習棟 B 1 階解剖実習室における測定点数は、A 測定 1 2 点と B 測定 1 点の計 1 3 点を原則とする。

ただし、作業場、作業工程、発生源及び作業員数等が前年度と変更になる場合があるため、A 及び B の両測定点は過去の測定結果を流用せず、主要な設備の再確認、作業員の位置と行動範囲及び作業員へのヒアリング結果に基づき決定すること。

その他、測定について不明な点は発注者と協議して決定すること。

7. 報告書及び改善指導

受注者は、作業場名称、測定項目、管理濃度 E、A 測定の第 1 評価値 (E_{A1})、第 2 評価値 (E_{A2})、B 測定値 (C_B)、A、B 両測定の管理区分を記載した結果一覧表と作業場毎の概要と所見を記載した書類を建物別に用紙を分け作成するものとする。

なお、これに加えて作業場毎に作業環境測定結果報告書（以下「報告書」という。）を別紙 3（モデル様式）に準じて原本と写しを一部ずつ作成し、原本は建物別に整理し一つのファイルに綴じた状態で提出するものとする。また、必要に応じて各作業場における A、B 両測定データ、管理区分、作業員の作業状況に基づき、作業環境及び作業方法の改善策等について記載するとともに、本学からの改善策等への相談を受け、労働衛生コンサルタント（労働衛生工学）による適切なアドバイスを提供できる体制を整えること。

ただし、報告書については国が示す記載要領（平成 20 年 2 月 29 日厚生労働省労働基準局長通知基発第 229002 号）に則り、3 管理を推進する上で有効な情報源とするため、特に作業環境管理については重点をおき、以下の点に注意すること。

- (1) 原則として使用物質の濃度を記載するとともに、混合溶液の場合は混合比も記載すること。
- (2) 5.全体図等において、作業員は男女を区別して記載すること。
- (3) 5.全体図等において、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点、作業員の動線の他、縮尺、空調・給排気口・換気扇・扇風機の稼働状況及びドアや窓の開閉状況等 airflow に影響を与えるもの並びに局所排気装置等の吸気等の能力の簡易検査を行うとともに略図を記載すること。
- (4) 7.サンプリング実施時の状況において、作業工程は必ず作業員からヒアリングして確認するとともに、コントロールバンディングによるリスクアセスメントを実施するために必要な情報を漏れなく記載すること。
- (5) 取扱いの注意事項や応急処置の方法等の掲示など、有機溶剤中毒予防規則、特定化学物質予防規則等の関係する法定要件についても確認し、改善が必要な場合はその旨記載すること。
- (6) 測定実施写真を提出すること。

8. その他

- (1) 受注者は、法令等に基づき、本学仕様を満たす作業環境測定を行えること。
- (2) 作業環境測定士、労働衛生コンサルタント（労働衛生工学）等の登録証（写）を提出すること。
- (3) 本測定に用いる測定機器は、受注者が用意すること。なお、本測定に必要な光熱水料は、本学の負担とする。
- (4) 受注者の責に帰すべき事由により、本学の財産に対して損傷又は滅失したときは、速やかに修復すること。
- (5) 環境測定日及び測定開始時間は、本学の指定する日時に行うこと。また、8月の夏季休暇期間及び1月の年始休暇期間の測定においては本学と協議すること。
- (6) 大学敷地内禁煙や構内幹線道路の速度制限などの大学ルールを遵守し、附属病院棟の患者用アメニティスペースは使用しないこと。また、測定により発生したゴミは持ち帰ること。
- (7) その他不明な点については、本学職員と協議すること。

番号	棟	階	講座等名	部屋名	作業環境測定予定薬品		備考
					有機溶剤	特定化学物質	
1	講義実習棟	B1階	器官組織解剖学	学生解剖実習室		ホルムアルデヒド	年1回のみ実施
2	講義実習棟	B1階	法医学	材料保存室		ホルムアルデヒド	
3	講義実習棟	B1階	器官組織解剖学	注入室		ホルムアルデヒド	
4	講義実習棟	1階	臨床薬理学	実験室(1)	メタノール		
5	基礎臨床研究棟	B4階					
6	基礎臨床研究棟	B2階					
7	基礎臨床研究棟	B1階					
8	基礎臨床研究棟	1階	再生・感染病理学	第一研究室 101	キシレン	アクリルアミド	
9	基礎臨床研究棟	1階	腫瘍病理学	105標本実験室	キシレン		
10	基礎臨床研究棟	1階	腫瘍病理学	105室内実験室		アクリルアミド	
11	基礎臨床研究棟	2階					
12	基礎臨床研究棟	2階	臨床腫瘍学	研究室 247室			
13	基礎臨床研究棟	3階	医化学	実験室 303	メタノール	アクリルアミド	
14	基礎臨床研究棟	3階	分子生物学	第1研究室 301	メタノール	アクリルアミド	
15	基礎臨床研究棟	3階	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	組織研究室 309		アクリルアミド	
16	基礎臨床研究棟	3階	医生理学	317室内ドラフト室	メタノール	アクリルアミド	
17	基礎臨床研究棟	4階	内科学第一	組織室 407	キシレン		
18	基礎臨床研究棟	4階	内科学第二	生化学実験室 401・403	トルエン等混合有機溶剤		
19	基礎臨床研究棟	4階					
20	基礎臨床研究棟	4階	内科学第三	第一実験室 415			
21	基礎臨床研究棟	4階	薬理学	第一実験室 417		ホルムアルデヒド	
22	基礎臨床研究棟	4階	薬理学	第二実験室 421	メタノール	アクリルアミド	
23	基礎臨床研究棟	5階					
24	基礎臨床研究棟	5階	外科学第二	外科学共同実験室 507		クロロホルム	
25	基礎臨床研究棟	5階	脳神経外科学	実験室 519	イソプロピルアルコール	ホルムアルデヒド	
26	基礎臨床研究棟	5階	麻酔・蘇生学	第一研究室 525			
27	基礎臨床研究棟	6階	整形外科学	実験室 601		ホルムアルデヒド	
28	基礎臨床研究棟	6階	精神医学	第2実験室 607	イソプロピルアルコール		
29	基礎臨床研究棟	6階	細胞分子解剖学	実験室 615	メタノール	アクリルアミド	
30	基礎臨床研究棟	6階	器官組織解剖学	第二実験室 621	キシレン		
31	基礎臨床研究棟	7階	小児科学	第2実験室 701	イソプロピルアルコール		
32	基礎臨床研究棟	7階	産婦人科学	実験室 705	メタノール	ホルムアルデヒド	
33	基礎臨床研究棟	7階	泌尿器科学	研究室 711	キシレン		
34	基礎臨床研究棟	7階	皮膚科学	組織化学室 715	アセトン	クロロホルム	
35	基礎臨床研究棟	8階					
36	基礎臨床研究棟	8階	8階共同実験室	組織化学実験室 807	キシレン	ホルムアルデヒド	
37	基礎臨床研究棟	9階	法医学	実験室 903	アセトン		
38	基礎臨床研究棟	9階	ウイルス・寄生虫学	RNA解析室	メタノール	クロロホルム ホルムアルデヒド	
39	基礎臨床研究棟	9階	医学分光応用研究室	実験室 913		ホルムアルデヒド	
40	総合人間科学・基礎研究棟	1階	生物学	実験暗室	ノルマルヘキサン・メタノール等の混合液	ジクロロメタン	有機溶剤は2物質
41	総合人間科学・基礎研究棟	2階	化学	第1実験室			
42	総合人間科学・基礎研究棟	2階	化学	第2実験室	ノルマルヘキサン アセトン メタノール	ジクロロメタン	有機溶剤は3物質
43	総合人間科学・基礎研究棟	2階	物理学	第1実験室	アセトン	クロロホルム	
44	総合人間科学・基礎研究棟	3階	細菌・免疫学	研究室			

番号	棟	階	講座等名	部屋名	作業環境測定予定薬品		備考
					有機溶剤	特定化学物質	
45	看護学科棟	3階	情報医学	情報医学実験研究室303	アセトン		
46	看護学科棟	6階	基礎看護学	基礎看護学実験研究室(1) 601			
47	看護学科棟	6階	基礎看護学 (健康科学)	基礎看護学実験室(3) 605	メタノール		
48	医工連携拠点棟	1階	先進機器共用推進部	試料作製室	アセトン	酸化プロピレン	
49	医工連携拠点棟	1階	先進機器共用推進部	MS試料調製室	メタノール	アクリルアミド	
50	医工連携拠点棟	2階	先進機器共用推進部	試薬調整室	メタノール	アクリルアミド	
51	医工連携拠点棟	4階	産学官連携推進	オープンイノベーション研究スペース1			
52	医工連携拠点棟	4階	産学官連携推進	オープンイノベーション研究スペース2			
53	医工連携拠点棟	4階	産学官連携推進	研究開発室2			
54	医工連携拠点棟	5階	産学官連携推進	オープンイノベーション研究スペース			
55	医工連携拠点棟	5階	ナノスーツ開発研究部	PIA実験室、実験室2			
56	RI動物実験施設	1階	RIセンター	動物実験室-1	キシレン		
57	RI動物実験施設	1階	RIセンター	廃棄物保管庫	キシレン		
58	RI動物実験施設	1階	RIセンター	アイオディネーション室			
59	RI動物実験施設	1階	RIセンター	動物実験室-2			
60	RI動物実験施設	2階	RIセンター	生化学実験室			
61	RI動物実験施設	1階	医用動物資源支援部	実験室 113室(薬理学)		ホルムアルデヒド	
62	RI動物実験施設	2階	医用動物資源支援部	手術室 212室			
63	RI動物実験施設	3階	医用動物資源支援部	実験室 332室(神経生理学)		ホルムアルデヒド	
64	RI動物実験施設	3階	医用動物資源支援部	実験室 332室(整形外科)		ホルムアルデヒド	
65	RI動物実験施設	3階	医用動物資源支援部	実験室 333室			
66	RI動物実験施設	3階	医用動物資源支援部	実験室 334室			
67	医療廃棄物処理センター	2階	医療廃棄物処理センター	第一分析室			
68	フoton研究棟	1階	光イメージング研究室	共同実験室	メタノール	ホルムアルデヒド	
69	フoton研究棟	1階	イノベーション光医学研究分野	共同実験室			
70	フoton研究棟	1階	分子病態イメージング研究分野	実験室	酢酸エチル	クロロホルム	
71	フoton研究棟	2階	光ゲノム医学研究室	生化学実験室	メタノール キシレン	アクリルアミド	有機溶剤は2物質
72	サイクロトロン棟	1階	分子病態イメージング研究分野	廃棄物保管庫			
73	サイクロトロン棟	1階	分子病態イメージング研究分野	産学官連携デモ室	キシレン		
74	サイクロトロン棟	1階	分子病態イメージング研究分野	ホットラボ室	アセトン		
75	サイクロトロン棟	2階	分子病態イメージング研究分野	RI実験室1		クロロホルム	
76	附属病院棟	B1階	病理解剖	標本作製室	キシレン	重クロム酸カリウム水溶液	
77	附属病院棟	B1階	病理解剖	解剖室		ホルムアルデヒド	
78	附属病院棟	B1階	病理解剖	切出室		ホルムアルデヒド	
79	附属病院棟	1階	病理部	切出室及び標本作成室	キシレン		
80	附属病院棟	1階	病理部	切出室	アセトン	ホルムアルデヒド	
81	附属病院棟	1階	薬剤部	薬物治療管理室	メタノール		
82	附属病院棟	1階	薬剤部	薬物治療管理室	アセトン		
83	附属病院棟	1階	検査部	遺伝子検査室	キシレン		
84	附属病院棟	2階	検査部	生化学検査室	メタノール混合物	ホルムアルデヒド	
85	附属病院棟	2階	検査部	生化学検査室 ドラフト室	メタノール		
86	附属病院棟	2階	検査部	微生物検査室	アセトン混合有機溶剤 酢酸エチル	ホルムアルデヒド	有機溶剤は2物質
87	附属病院棟	B1階	材料部	EOG滅菌室		エチレンオキシド	

物の種類	試料採取方法	分析方法
ジクロルベンジジン及びその塩	液体捕集方法	吸光光度分析方法
アルファーナフチルアミン及びその塩	液体捕集方法	吸光光度分析方法又は蛍光光度分析方法
塩素化ビフェニル(別名PCB)	液体捕集方法又は固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
オルトトリジン及びその塩	液体捕集方法	吸光光度分析方法
ジアニシジン及びその塩	液体捕集方法	吸光光度分析方法
ベリリウム及びその化合物	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法、原子吸光分析方法又は蛍光光度分析方法
ベンゾトリクロリド	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
アクリルアミド	固体捕集方法及びろ過捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
アクリロニトリル	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
アルキル水銀化合物(アルキル基がメチル基又はエチル基である物に限る。)	液体捕集方法	吸光光度分析方法、ガスクロマトグラフ分析方法又は原子吸光分析方法
インジウム化合物	第二条第二項の要件に該当する分粒装置を用いるろ過捕集方法	誘導結合プラズマ質量分析方法
エチルベンゼン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
エチレンイミン	液体捕集方法	吸光光度分析方法又は高速液体クロマトグラフ分析方法
エチレンオキシド	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
塩化ビニル	直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
塩素	液体捕集方法	吸光光度分析方法
オーラミン	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法
オルトトルイジン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
オルトーフタロジニトリル	固体捕集方法及びろ過捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
カドミウム及びその化合物	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法又は原子吸光分析方法
クロム酸及びその塩	液体捕集方法又はろ過捕集方法	吸光光度分析方法又は原子吸光分析方法
クロロホルム	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法

物の種類	試料採取方法	分析方法
クロロホルム	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
クロロメチルメチルエーテル	液体捕集方法	吸光光度分析方法
五酸化バナジウム	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法又は原子吸光分析方法
コバルト及びその無機化合物	ろ過捕集方法	原子吸光分析方法
コールタール	ろ過捕集方法	重量分析方法
酸化プロピレン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
シアン化カリウム	液体捕集方法	吸光光度分析方法
シアン化水素	液体捕集方法	吸光光度分析方法
シアン化ナトリウム	液体捕集方法	吸光光度分析方法
四塩化炭素	液体捕集方法又は固体捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
一・四ージオキサン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
一・二ージクロロエタン(別名二塩化エチレン)	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
三・三' -ジクロロ-四・四' -ジアミノジフェニルメタン	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法、ガスクロマトグラフ分析方法又は高速液体クロマトグラフ分析方法
一・二ージクロロプロパン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
ジクロロメタン(別名二塩化メチレン)	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
ジメチル-二・二ージクロロピニルホスフェイト(別名DDVP)	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
一・一-ジメチルヒドラジン	固体捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法
臭化メチル	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法、固体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
重クロム酸及びその塩	液体捕集方法又はろ過捕集方法	吸光光度分析方法又は原子吸光分析方法
水銀及びその無機化合物(硫化水銀を除く。)	液体捕集方法又は固体捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法又は原子吸光分析方法 二 固体捕集方法にあつては、原子吸光分析方法

物の種類	試料採取方法	分析方法
スチレン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法
		二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
一・一・二・二-テトラクロロエタン(別名四塩化アセチレン)	液体捕集方法又は固体捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法
		二 固体捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
テトラクロロエチレン(別名パークロルエチレン)	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
トリクロロエチレン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法
		二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
トリレンジイソシアネート	液体捕集方法又は固体捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法
		二 固体捕集方法にあつては、高速液体クロマトグラフ分析方法
ナフタレン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
ニッケル化合物(ニッケルカルボニルを除き、粉状の物に限る。)	ろ過捕集方法	原子吸光分析方法
ニッケルカルボニル	液体捕集方法又は固体捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法又は原子吸光分析方法
		二 固体捕集方法にあつては、原子吸光分析方法
ニトログリコール	液体捕集方法	吸光光度分析方法
パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法
パラ-ニトロクロルベンゼン	液体捕集方法又は固体捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法又はガスクロマトグラフ分析方法
		二 固体捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
砒(ひ)素及びその化合物(アルシン及び砒(ひ)化ガリウムを除く。)	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法又は原子吸光分析方法
弗(ふつ)化水素	液体捕集方法	吸光光度分析方法又は高速液体クロマトグラフ分析方法
ベータ-プロピオラクトン	直接捕集方法又は固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
ベンゼン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法
		二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
ペンタクロルフェノール(別名PCP)及びそのナトリウム塩	液体捕集方法	吸光光度分析方法

物の種類	試料採取方法	分析方法
ホルムアルデヒド	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法又は高速液体クロマトグラフ分析方法
マゼンタ	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法
マンガン及びその化合物(塩基性酸化マンガンを除く。)	ろ過捕集方法	吸光光度分析方法又は原子吸光分析方法
メチルイソブチルケトン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法
		二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
沃(よう)化メチル	直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
リフラクトリーセラミックファイバー	ろ過捕集方法	計数方法
硫化水素	液体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法
		二 直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
硫酸ジメチル	液体捕集方法又は固体捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法
		二 固体捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法

物の種類	試料採取方法	分析方法
アセトン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
イソブチルアルコール	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
イソプロピルアルコール	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
イソペンチルアルコール(別名イソアミルアルコール)	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
エチルエーテル	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
エチレングリコールモノエチルエーテル(別名セロソルブ)	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート(別名セロソルブアセテート)	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル(別名ブチルセロソルブ)	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
エチレングリコールモノメチルエーテル(別名メチルセロソルブ)	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
オルト-ジクロルベンゼン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
キシレン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
クレゾール	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
クロルベンゼン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
酢酸イソブチル	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
酢酸イソプロピル	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
酢酸イソペンチル(別名酢酸イソアミル)	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
酢酸エチル	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
酢酸ノルマルブチル	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
酢酸ノルマルプロピル	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法

物の種類	試料採取方法	分析方法
酢酸ノルマループロピル	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
酢酸ノルマルーペンチル(別名酢酸ノルマルーアミル)	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
酢酸メチル	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
シクロヘキサノール	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
シクロヘキサノン	液体捕集方法又は固体捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
一・ニージクロルエチレン(別名二塩化アセチレン)	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
N・N-ジメチルホルムアミド	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
テトラヒドロフラン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
一・一・一・一トリクロルエタン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
トルエン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
二硫化炭素	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法又はガスクロマトグラフ分析方法 三 直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
ノルマルヘキサン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
一・一・ブタノール	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
二・一・ブタノール	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
メタノール	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
メチルエチルケトン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	一 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 二 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法
メチルシクロヘキサノール	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
メチルシクロヘキサノン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法
メチルーノルマルーブチルケトン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法

保存 年

年 月 日

報告書（証明書）番号

作業環境測定結果報告書（証明書）

殿

貴事業場より委託を受けた作業環境測定の結果は、下記及び別紙作業環境測定結果記録表に記載したとおりであることを証明します。

測定を実施した作業環境測定機関

① 名称	② 代表者職氏名		②-② 作業環境測定結果の管理を担当する者の氏名		⑩
					⑩
③ 所在地（TEL、FAX）					
④ 登録番号	⑤ 作業環境測定に関する精度 管理事業への参加の有無		無 有（ 年度 参加 No. ）		
⑥ 連絡担当作業環境測定士氏名		⑦ 登録に係る指定作業場の種類		第 1 2 3 4 5	

測定を委託した事業場等

⑧ 名称	
⑨ 所在地（TEL、FAX）	

記

- 測定を実施した単位作業場所の名称：
- 測定した物質の名称及び管理濃度：
- 測定年月日（1日目） 年 月 日（2日目） 年 月 日
- 測定結果

測定日	1日目	2日目	1日目と2日目の総合	区分
A測定結果〔幾何平均値〕	$M_1 = ()$	$M_2 = ()$	$M = ()$	I II III
B測定値	$()$			I II III

()内には単位〔ppm・mg/m³・f/cm³・無次元〕を記入

管理区分 (作業環境管理の状態)	第1管理区分 (適切)	第2管理区分 (なお改善の余地)	第3管理区分 (適切でない)
---------------------	----------------	---------------------	-------------------

【事業場記入欄】（以下については事業場の責任において記入すること）

作成者職氏名	作成年月日	年 月 日
--------	-------	-------

- (1) 当該単位作業場所における管理区分等の推移（過去4回）

測定年月日	年 月	年 月	年 月	年 月(前回)
A測定結果	I II III	I II III	I II III	I II III
B測定結果	I II III	I II III	I II III	I II III
管理区分	第1 第2 第3	第1 第2 第3	第1 第2 第3	第1 第2 第3

- (2) 衛生委員会、安全衛生委員会又はこれに準ずる組織の意見

- (3) 産業医又は労働衛生コンサルタントの意見

- (4) 作業環境改善措置の内容

作業環境測定結果記録表(B 特定化学物質、鉛、有機溶剤、石綿用)

報告書(証明書)番号 _____

1 測定を実施した作業環境測定士

⑪氏名	⑫登録番号	実施項目の別		
	—	デザイン	サンプリング	分析
	—	デザイン	サンプリング	分析
	—	デザイン	サンプリング	分析
	—	デザイン	サンプリング	分析
	—	デザイン	サンプリング	分析

2 測定対象物質等

		⑬種類	⑭名称	⑮製造又は取扱量	
当該単位作業場所において製造し、又は取り扱う物質		特1・特2・有1・有2・鉛・石・その他		/月	
				/月	
				/月	
⑯ 当該単位作業場所で行われる業務の概要					
⑰ 測定対象物質の名称					
⑱ 成分 指数の 計算	含有率(%)				
	t の値				
	成分指数	F=			

3 サンプリング実施日時

	日別	実施日	開始時刻 (イ)	終了時刻 (ロ)	時間 (ロ) - (イ)
⑲ A測定	1日目	年 月 日	時 分	時 分	分間
	2日目	年 月 日	時 分	時 分	分間
⑳ B測定		年 月 日	時 分	時 分	分間

4 単位作業場所等の概要

⑲ 単位作業場所 No.		⑳ A測定の測定点の数	1日目		2日目	
㉑ 単位作業場所の広さ	m ²	㉒ A測定の測定値の数	1日目		2日目	
㉓ 単位作業場所について						
(1) 有害物の分布の状況						
(2) 労働者の作業中の行動範囲						
(3) 単位作業場所の範囲を決定した理由						

㉖ 併行測定を行う測定点を決定した理由

㉗ B 測定の測定点と測定時刻を決定した理由

(1) 発生源に近接する場所における作業

(2) 濃度が最も高くなると思われる作業位置

(3) 濃度が最も高くなると思われる時間

㉘ A 測定点の数を 5 点未満に決定した理由

(1) 単位作業場所の広さ

(2) 過去における測定の記録

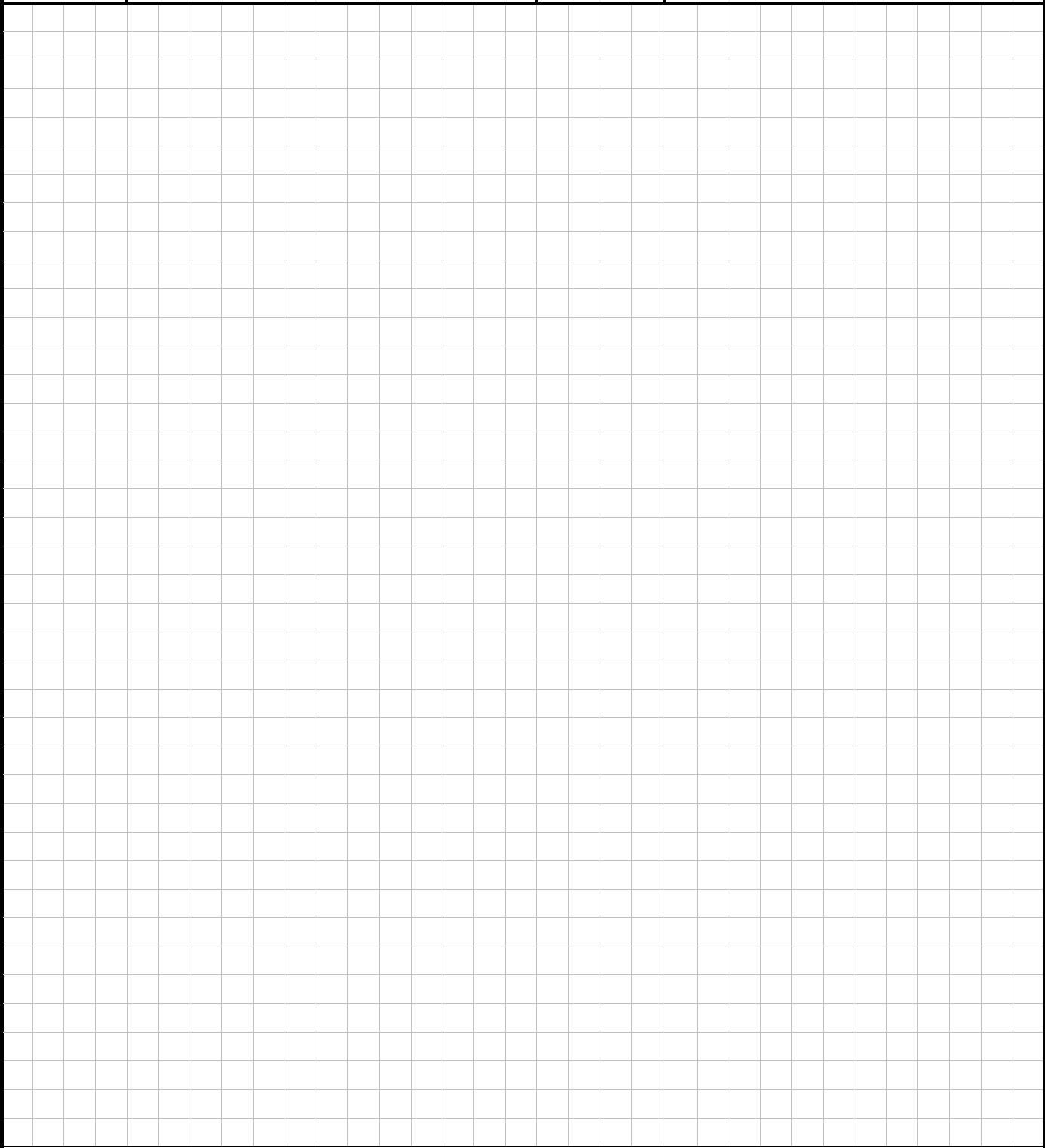














㉘-(2) A 測定点の間隔を 6m 超に決定した理由

(1) 過去における測定の記録

㉙ 測定に係る監督署長許可の有無

有 (許可年月日 年 月 日 許可番号) 無

5 全体図、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点の配置等を示す図面
(5ミリ方眼)

事業場名		作業場名	
			
<p>〔記号〕 ①、②、③……：A測定点 ㉞：B測定点 ●：併行測定点 ☒：発生源</p> <p> ：囲い式フード ：外付け式フード ：気流方向 ：気流滞留状態 </p> <p> ：上昇気流 ：下降気流 ：気流拡散状態 ：気象測定地点 </p> <p> ：作業者位置 ：作業者移動位置 ：単位作業場所の範囲 </p> <p> ：換気扇 ：扇風機 ：プッシュプル </p> <p>※単位作業場所の縦・横の寸法は必ず記入すること。その他必要な事項については記載要領を参照。</p>			

6 測定データの記録(1日目、 2日目)

[A測定データ]

[単位 : ppm・mg/m³・f/cm³]

⑩ 測定対象物質の名称	$E_{①} =$		$E_{②} =$		$E_{③} =$		$E_{④} =$		$E_{⑤} =$		$E = 1$
⑪ 管理濃度等	$^{⑮}C_{①}$	$^{⑯}\frac{C_{①}}{E_{①}}$	$^{⑮}C_{②}$	$^{⑯}\frac{C_{②}}{E_{②}}$	$^{⑮}C_{③}$	$^{⑯}\frac{C_{③}}{E_{③}}$	$^{⑮}C_{④}$	$^{⑯}\frac{C_{④}}{E_{④}}$	$^{⑮}C_{⑤}$	$^{⑯}\frac{C_{⑤}}{E_{⑤}}$	$^{⑰}\sum_{i=1}^n \frac{C_i}{E_i}$
⑭ No.											
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											

[B測定データ]

⑳	C_{B1}										
	C_{B2}										
	C_{B3}										

7 サンプルング実施時の状況

㉑ サンプルング実施時に当該単位作業場所以で行われていた作業、設備の稼働状況等及び測定値に影響を及ぼしたと考えられる事項の概要
 [作業工程と発生源及び作業人数]

[設備、排気装置の稼働状況]

[ドア、窓の開閉、気流の状況]

[当該単位作業場所の周辺からの影響]

[各測定点に関する特記事項]

天候		温度	℃	湿度	%	気流	～	m/s
----	--	----	---	----	---	----	---	-----

8 試料採取方法等

⑪ 試料採取方法	直接・液体・固体・ろ過・検知管（ ）用）・その他（ ）		
⑫ 捕集剤、捕集器具及び型式		⑬ 吸引流量	L/min
⑭ 捕集時間	分間（ 分間隔）	⑯ 捕集量	L

9 分析方法等

⑰ 分析方法	吸光光度・蛍光光度・原子吸光・ガスクロマトグラフ・重量分析・計数・高速液体クロマトグラフ・検知管・その他（ ）
⑱ 使用機器名及び型式	
⑲-⑵ 分析日	年 月 日～ 年 月 日（ 日間）

10 測定値（換算値）変換係数の決定（監督署長許可の場合のみ記入）

1 日目	⑲ 検知管指示値	ppm	⑳ 捕集時間	分間
	㉑ 測定値（換算値）		㉒ 測定値（換算値）変換係数	
2 日目	㉓ 検知管指示値	ppm	㉔ 捕集時間	分間
	㉕ 測定値（換算値）		㉖ 測定値（換算値）変換係数	

11 測定結果

〔単位：ppm・mg/m³・f / cm³・無次元〕

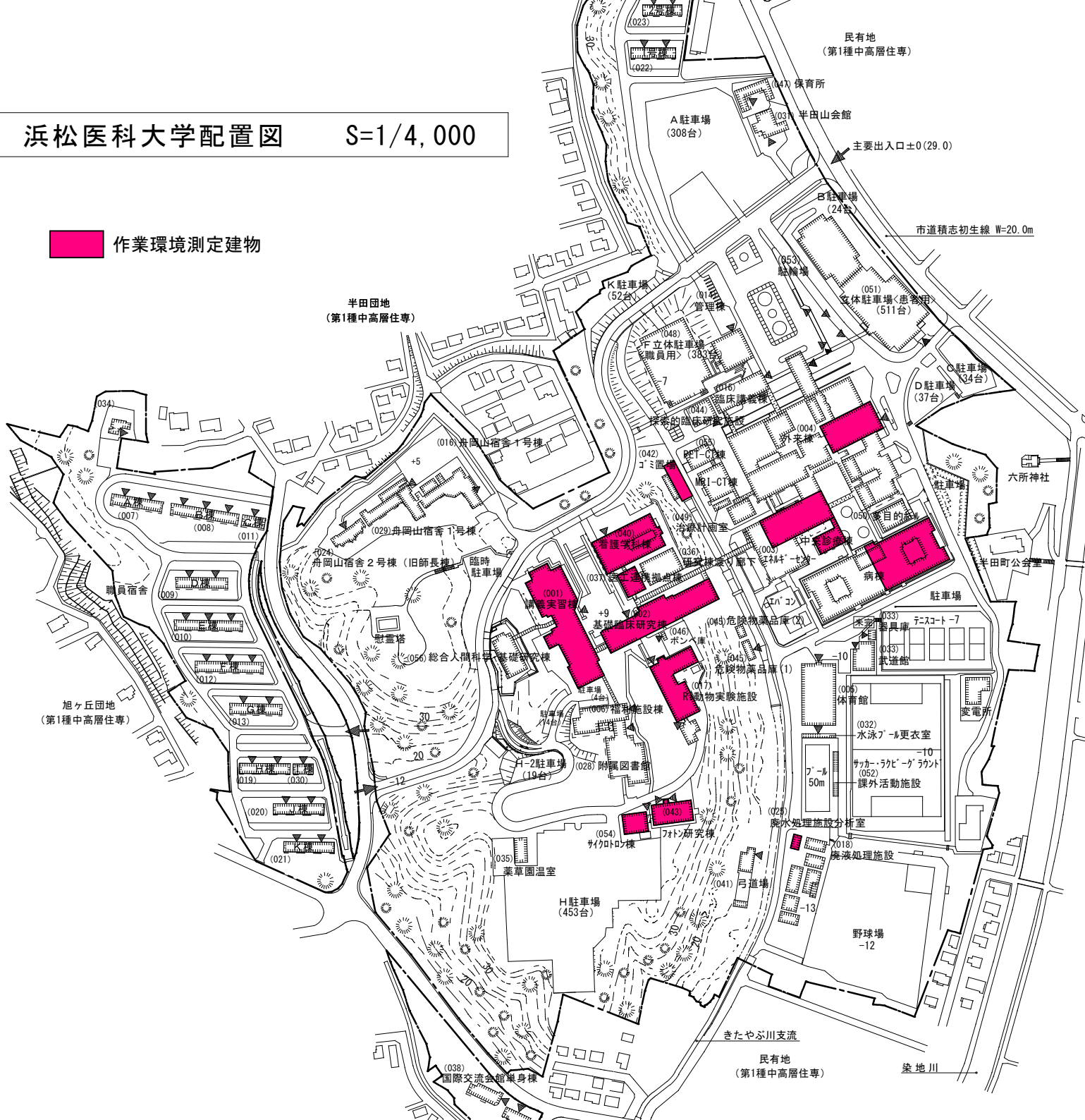
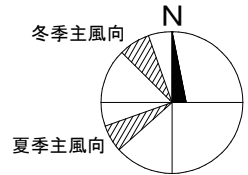
	区分	1 日目	2 日目	M及びσ
A測定	㉗ 幾何平均値	M ₁ =	M ₂ =	M=
	㉘ 幾何標準偏差	σ ₁ =	σ ₂ =	σ=
	㉙ 第1評価値	E _{A1} =		
	㉚ 第2評価値	E _{A2} =		
B測定	㉛	C _B =		

12 評価

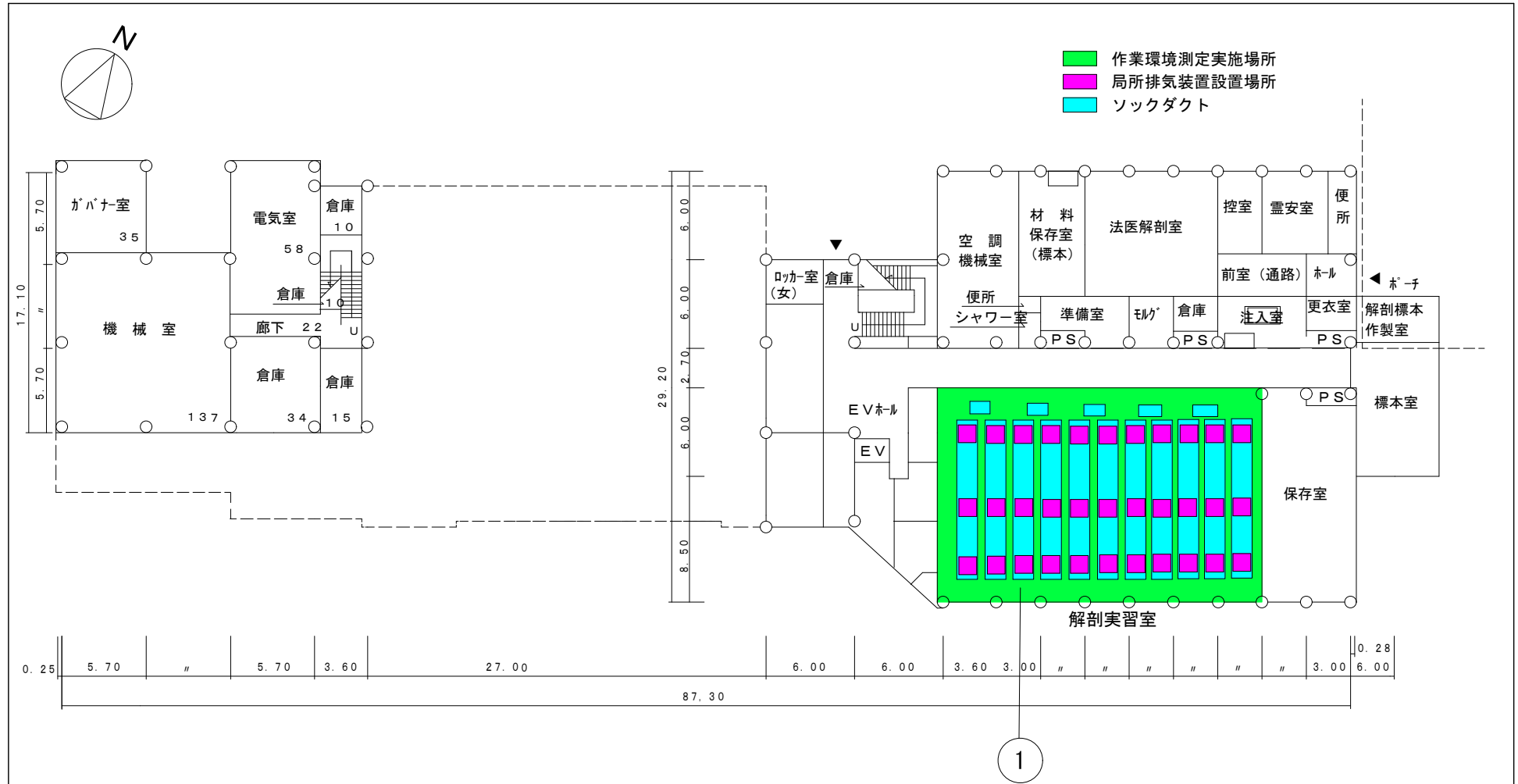
㉜ 評価日	年 月 日			
㉝ 評価箇所	㉞の単位作業場所と同じ			
評価結果	㉟ 管理濃度	E = [ppm・mg/m ³ ・f / cm ³ ・無次元]		
	㊱ A測定の結果	E _{A1} < E	E _{A1} ≥ E ≥ E _{A2}	E _{A2} > E
	㊲ B測定の結果	C _B < E	E × 1.5 ≥ C _B ≥ E	C _B > E × 1.5
	㊳ 管理区分	第1	第2	第3
㊴ 評価を実施した者の氏名				

浜松医科大学配置図 S=1/4,000

作業環境測定建物



学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	001



講義実習棟

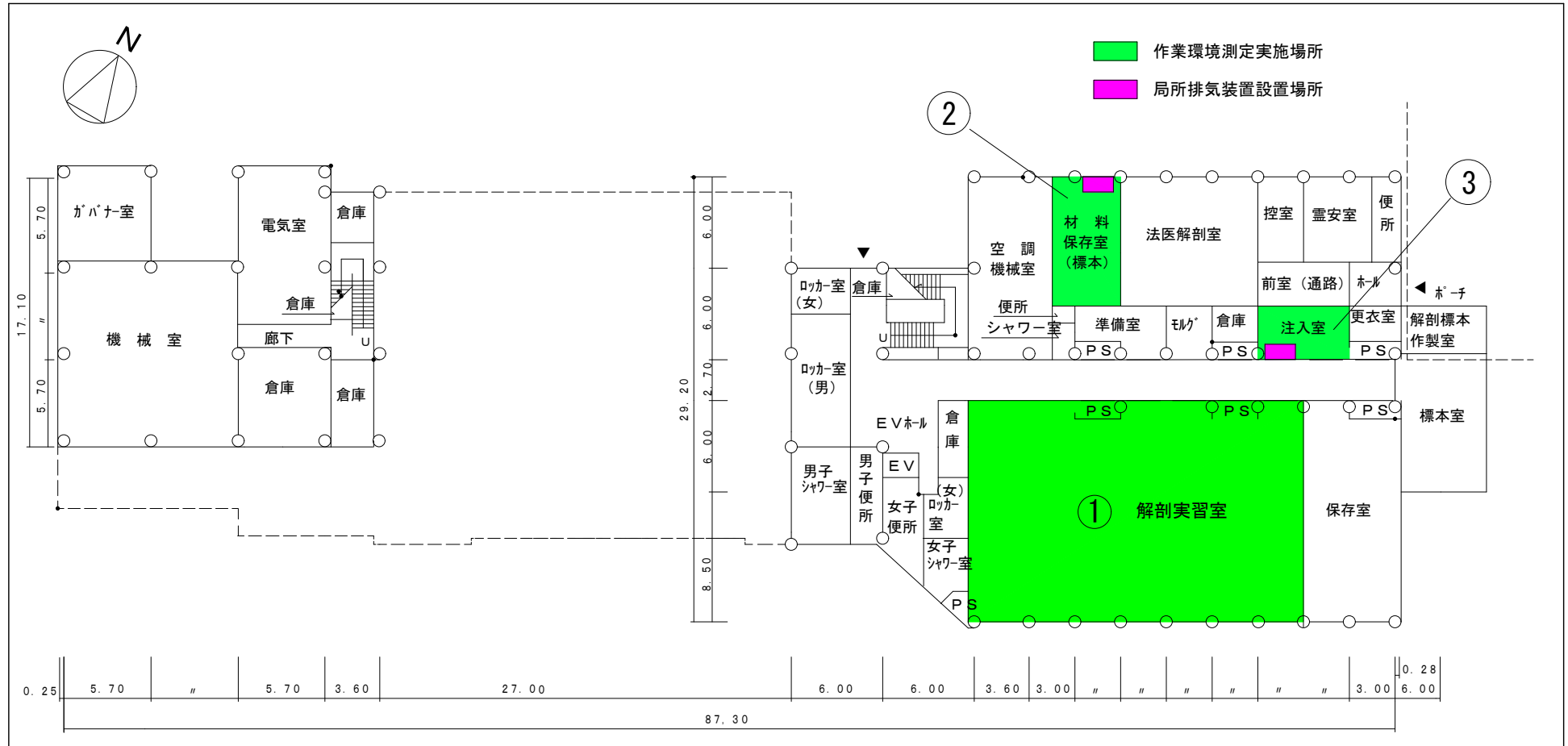
B階平面図

S50 (1,398㎡), S56 (20㎡)

S=1/400

1,418㎡

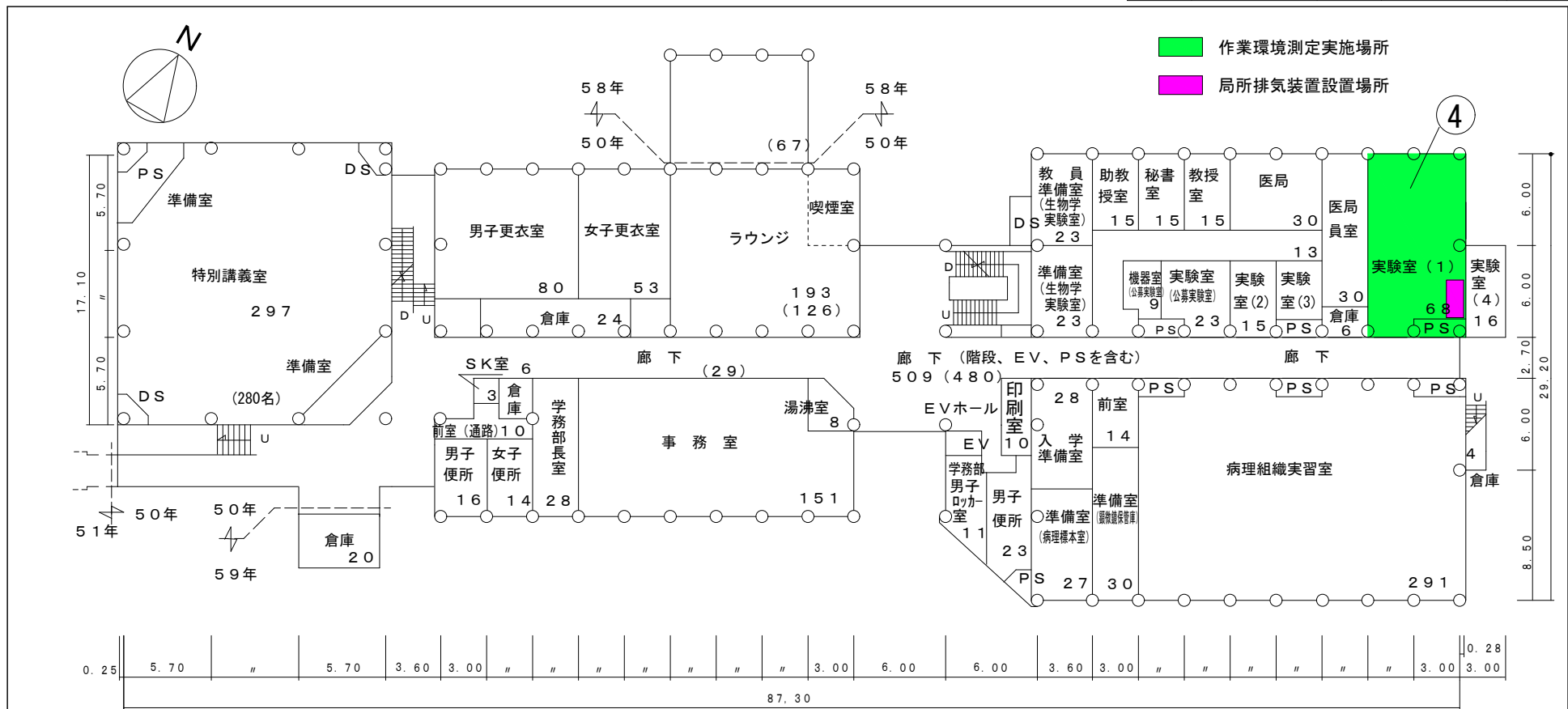
学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	001



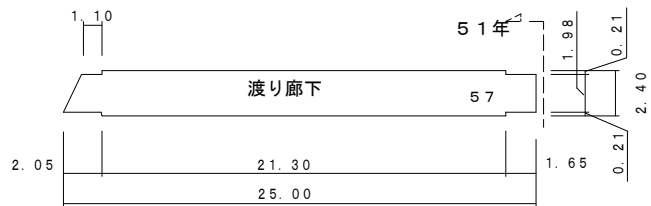
講義実習棟
 B階平面図 S50(1,398㎡), S56(20㎡) S=1/400 1,418㎡

棟 別 平 面 図

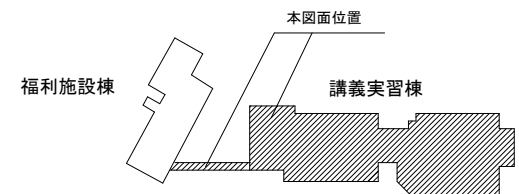
学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	001

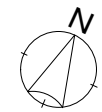


講義実習棟 1階平面図 S1/400 2, 211 m²

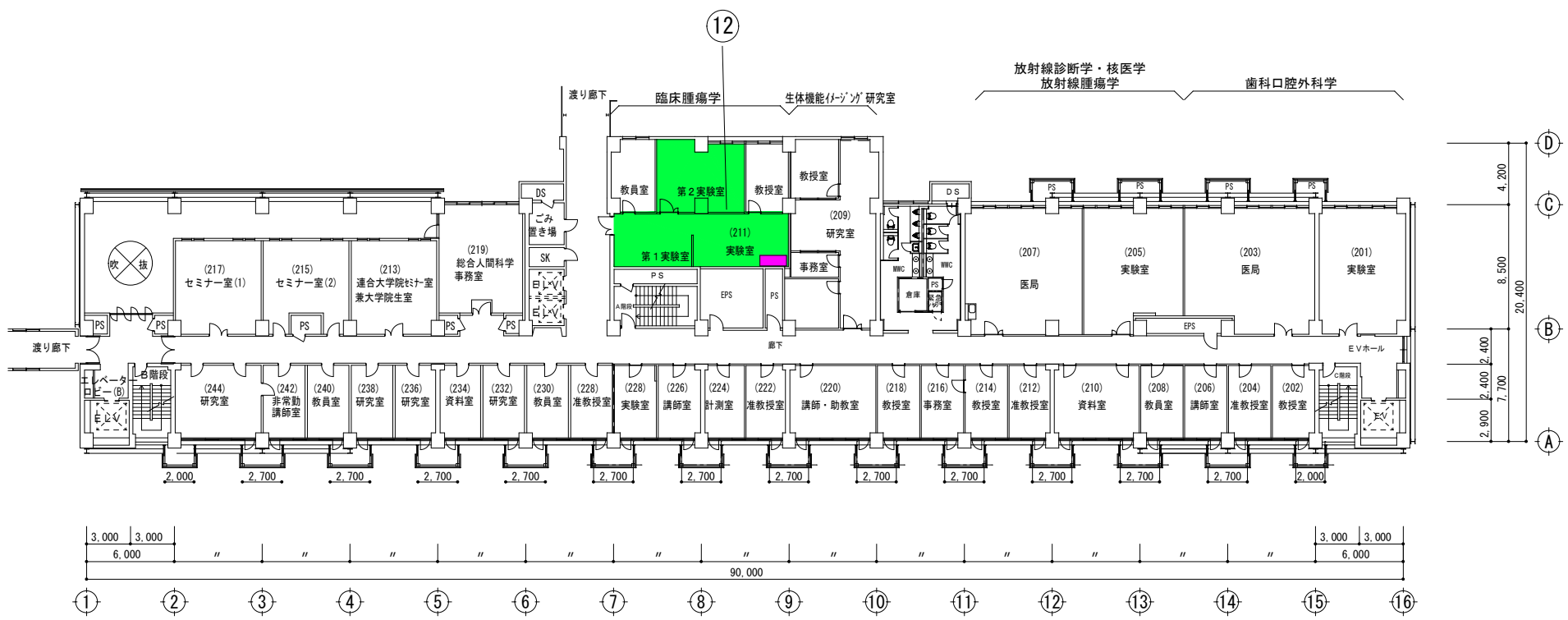


- S50 2,067m²
- S51 57m²
- S58 67m²
- S59 20m²





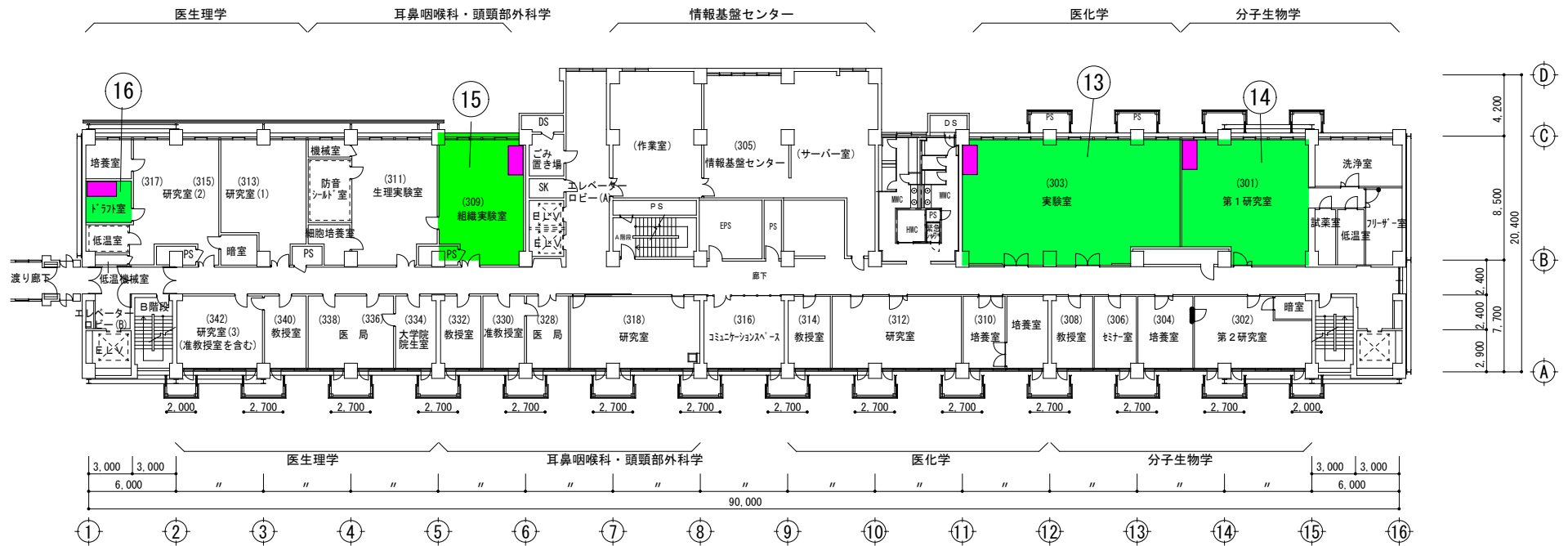
- 作業環境測定実施場所
- 局所排気装置設置場所



基礎臨床研究棟
2階平面図 S=1/300



- 作業環境測定実施場所
- 局所排気装置設置場所

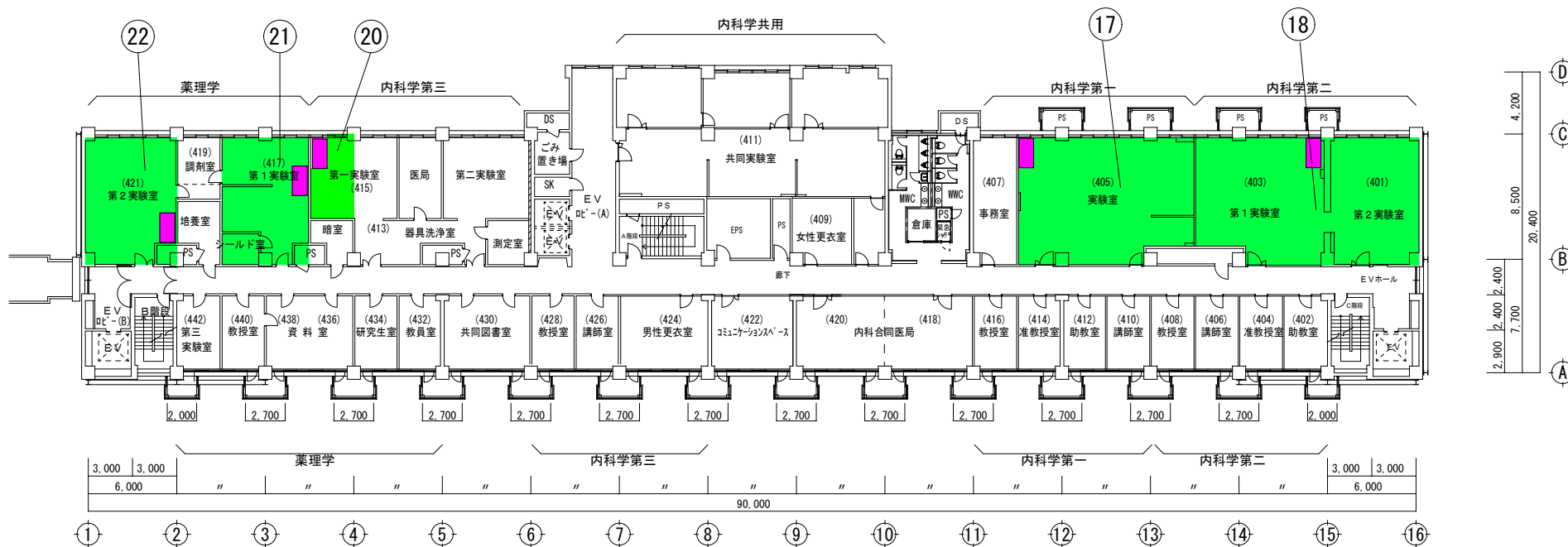


基礎臨床研究棟



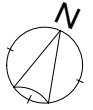
作業環境測定実施場所

局所排気装置設置場所

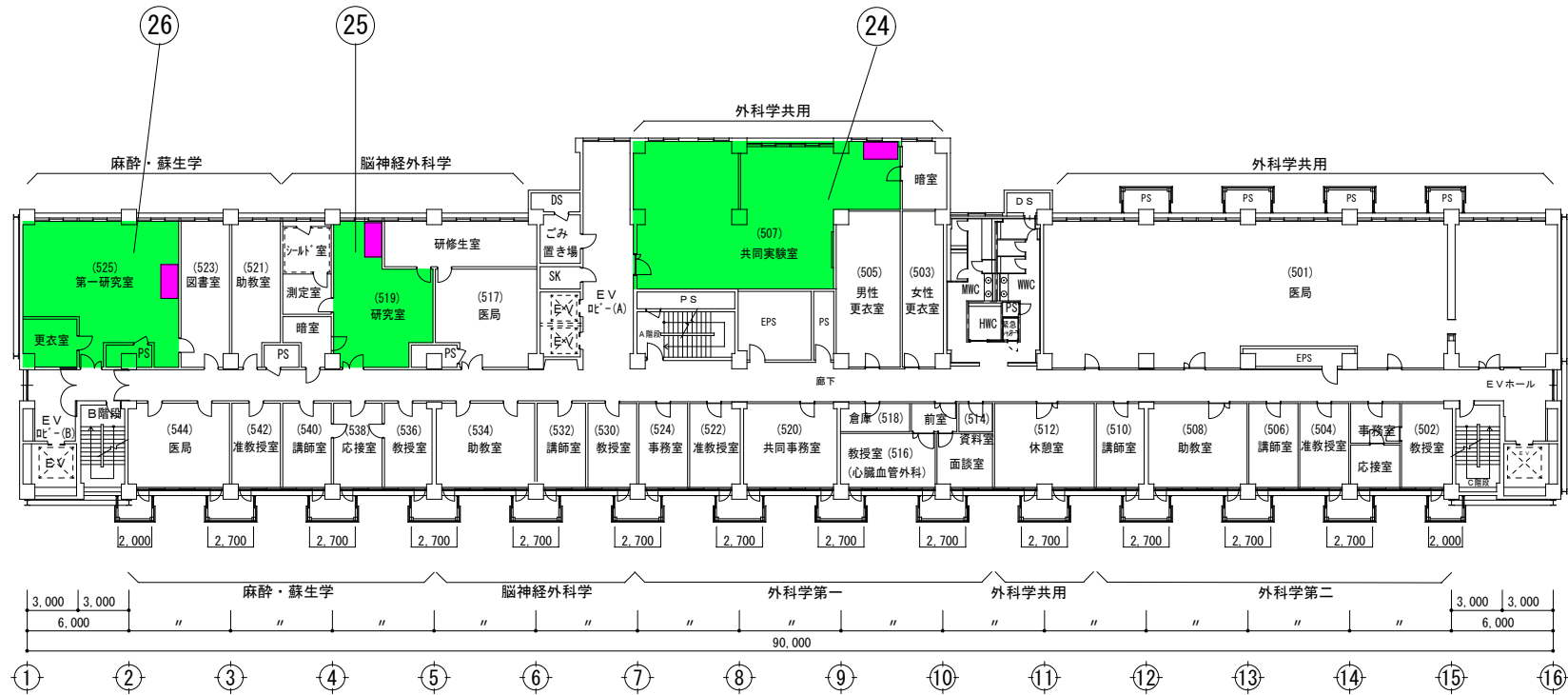


基礎臨床研究棟

4階平面図 S=1/300



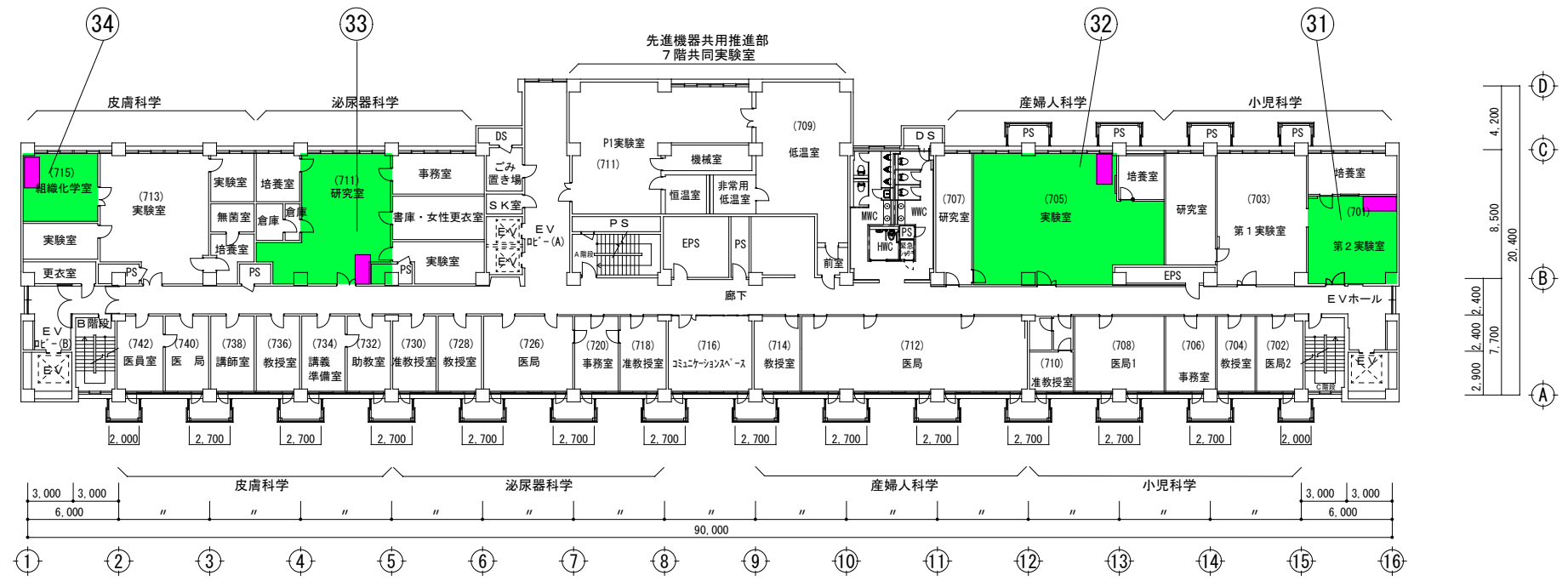
- 作業環境測定実施場所
- 局所排気装置設置場所



基礎臨床研究棟
5階平面図 S=1/300

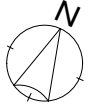


作業環境測定実施場所
 局所排気装置設置場所

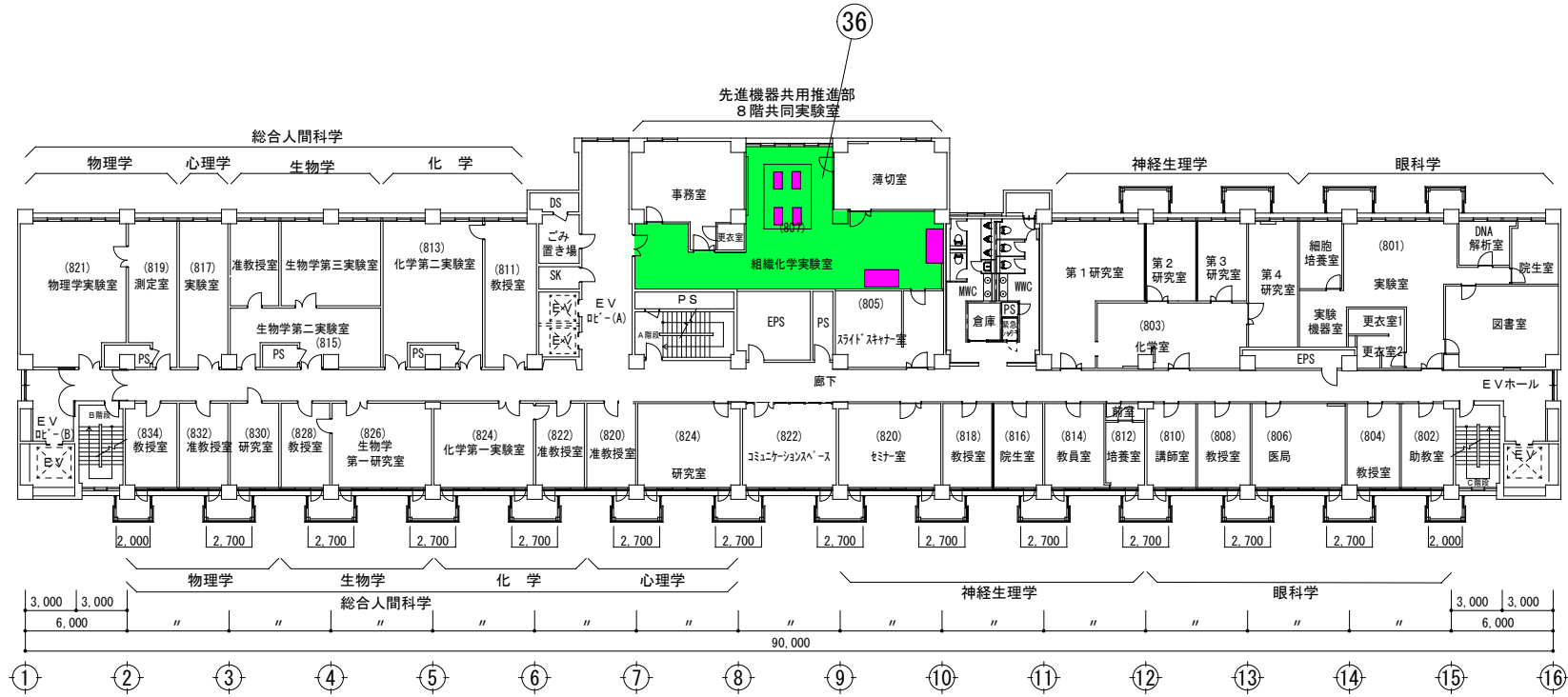


基礎臨床研究棟

7階平面図 S=1/300



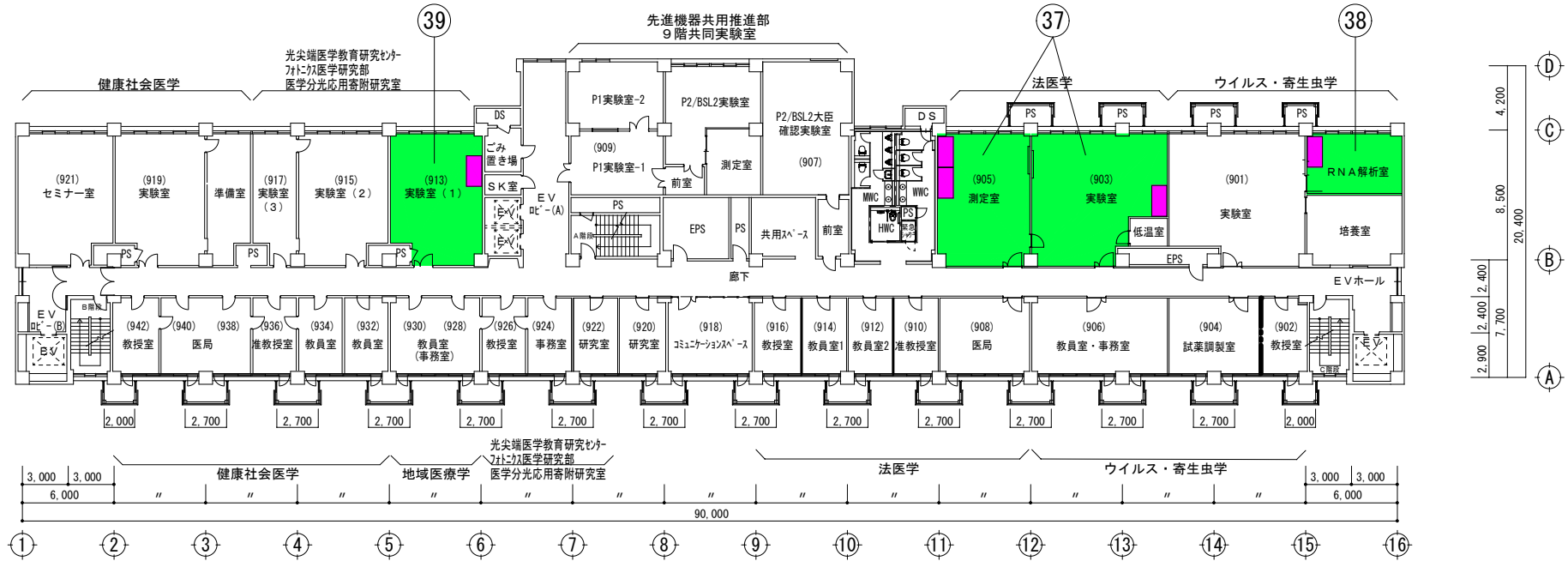
- 作業環境測定実施場所
- 局所排気装置設置場所



基礎臨床研究棟

8階平面図 S=1/300

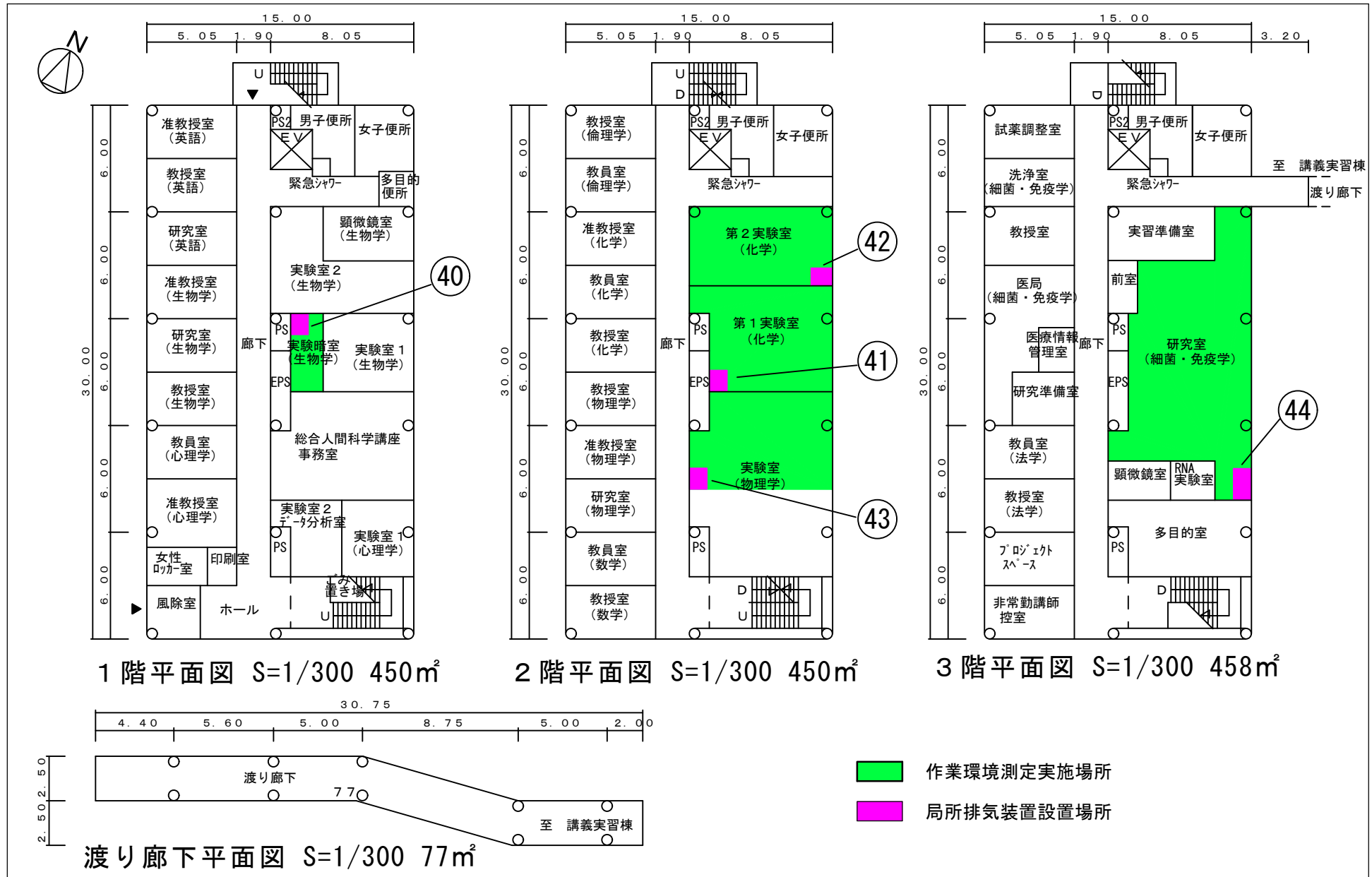
- 作業環境測定実施場所
- 局所排気装置設置場所



基礎臨床研究棟

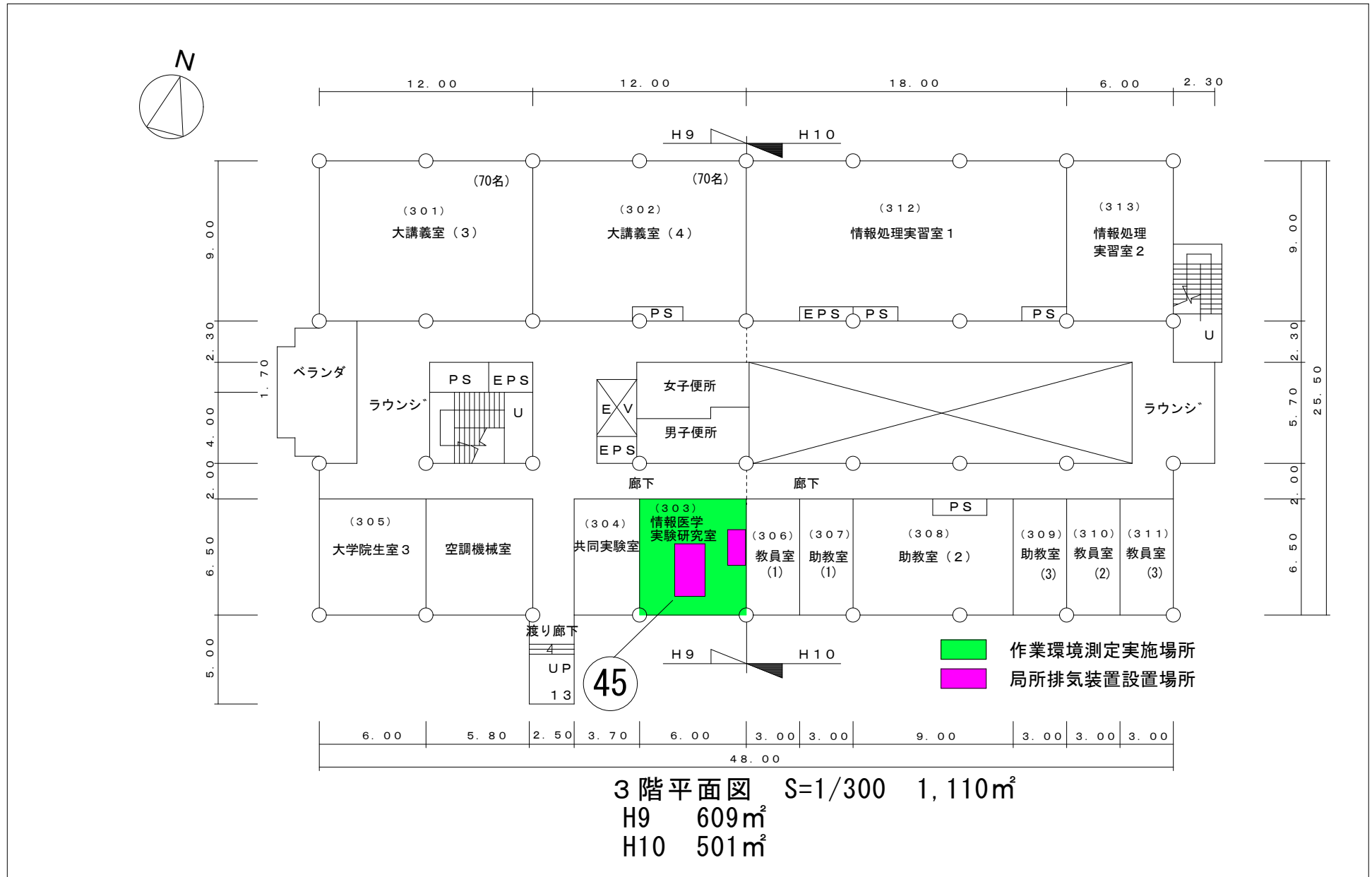
棟 別 平 面 図

学校番号	学 校 名	団地番号	団 地 名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	056



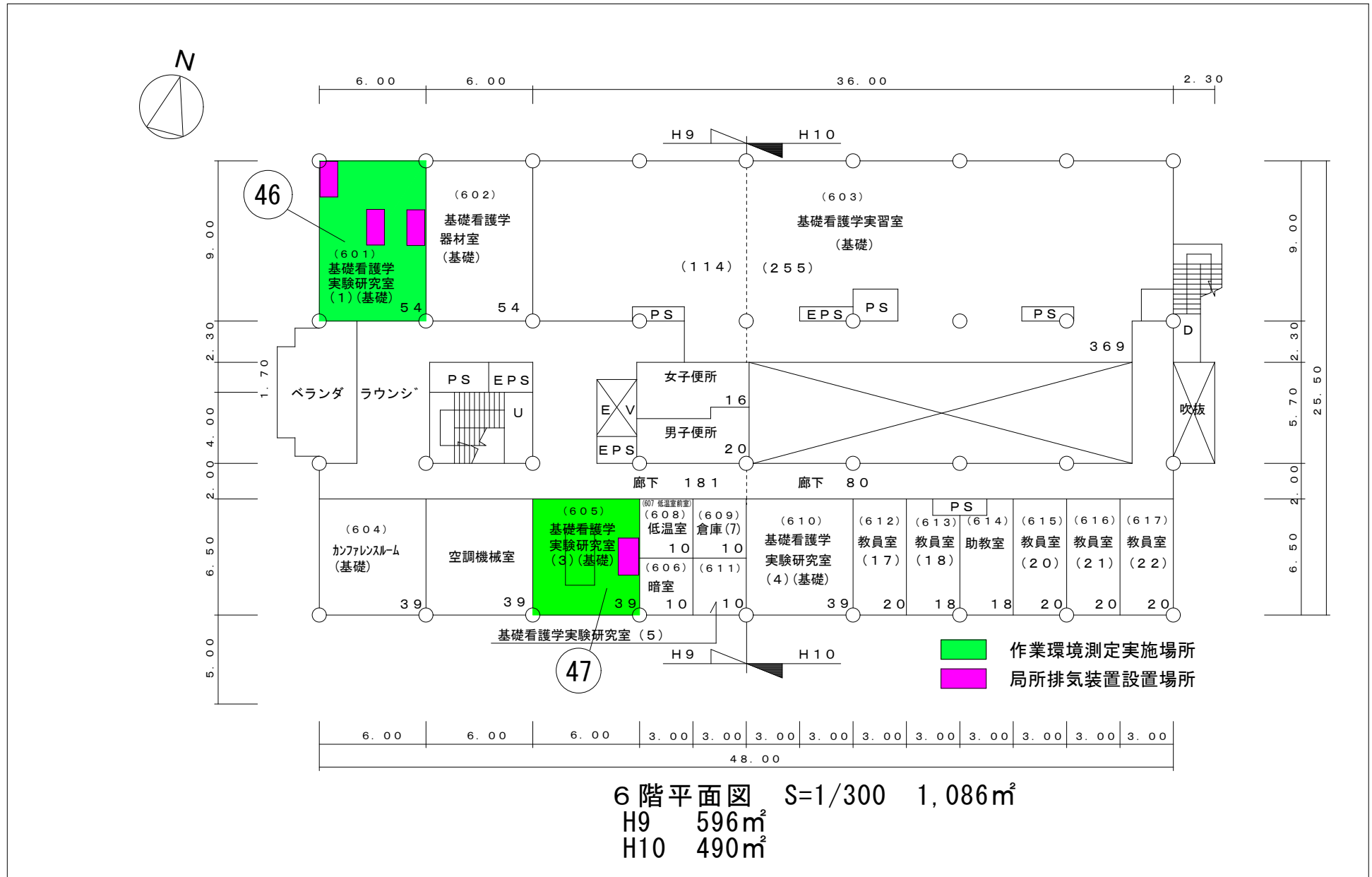
棟別平面図

学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	040



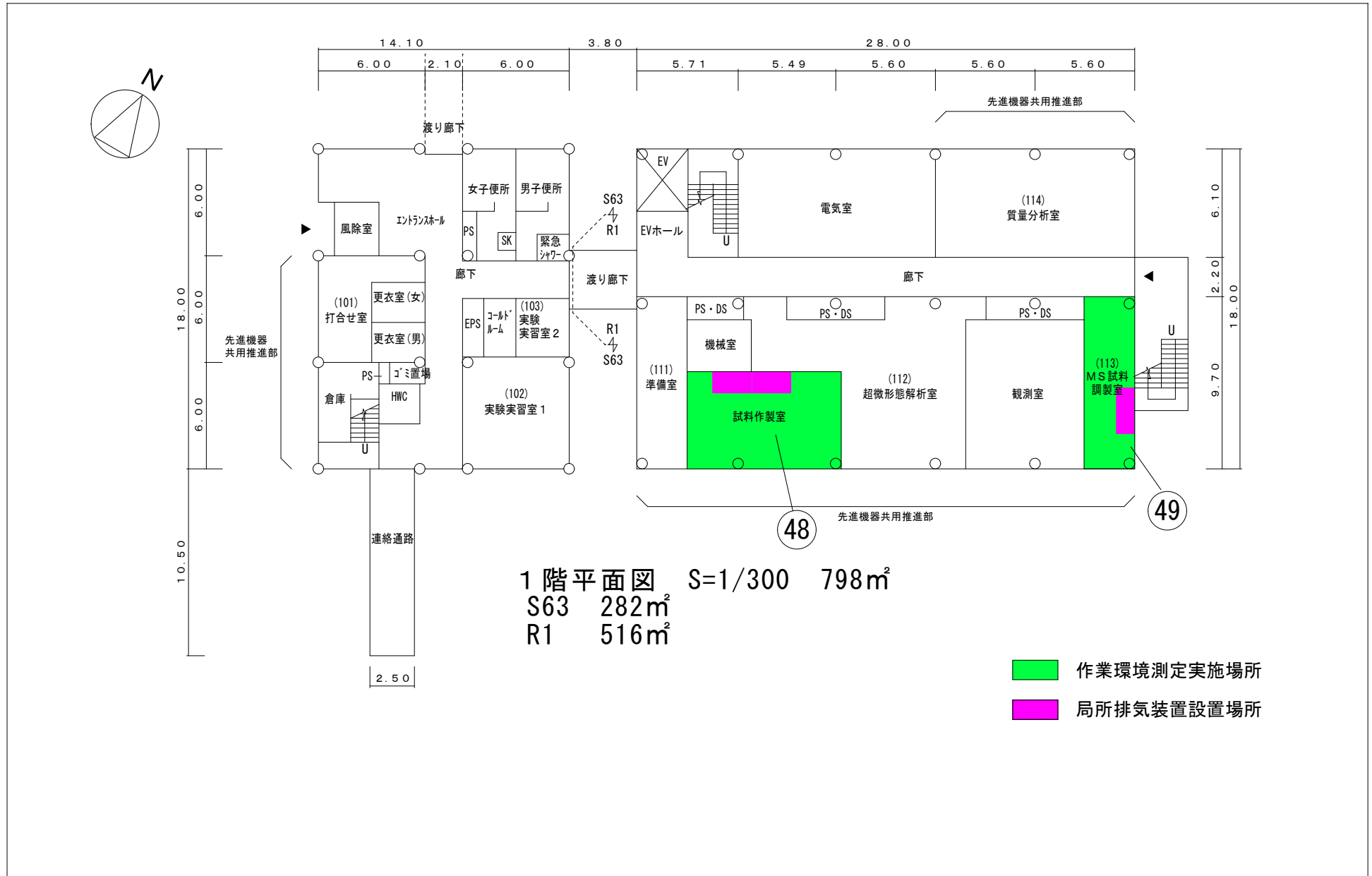
棟別平面図

学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	040

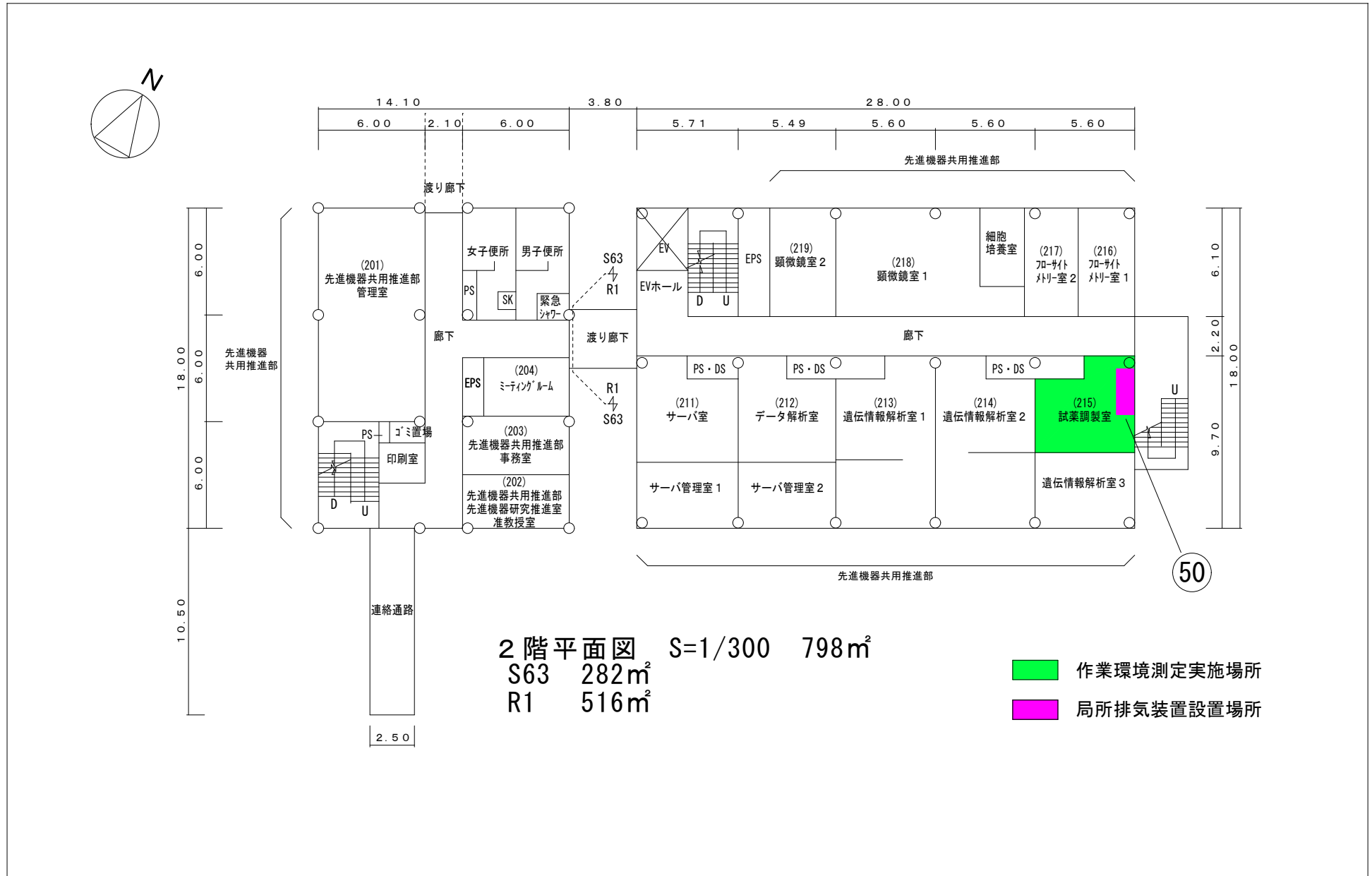


棟別平面図

学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	037

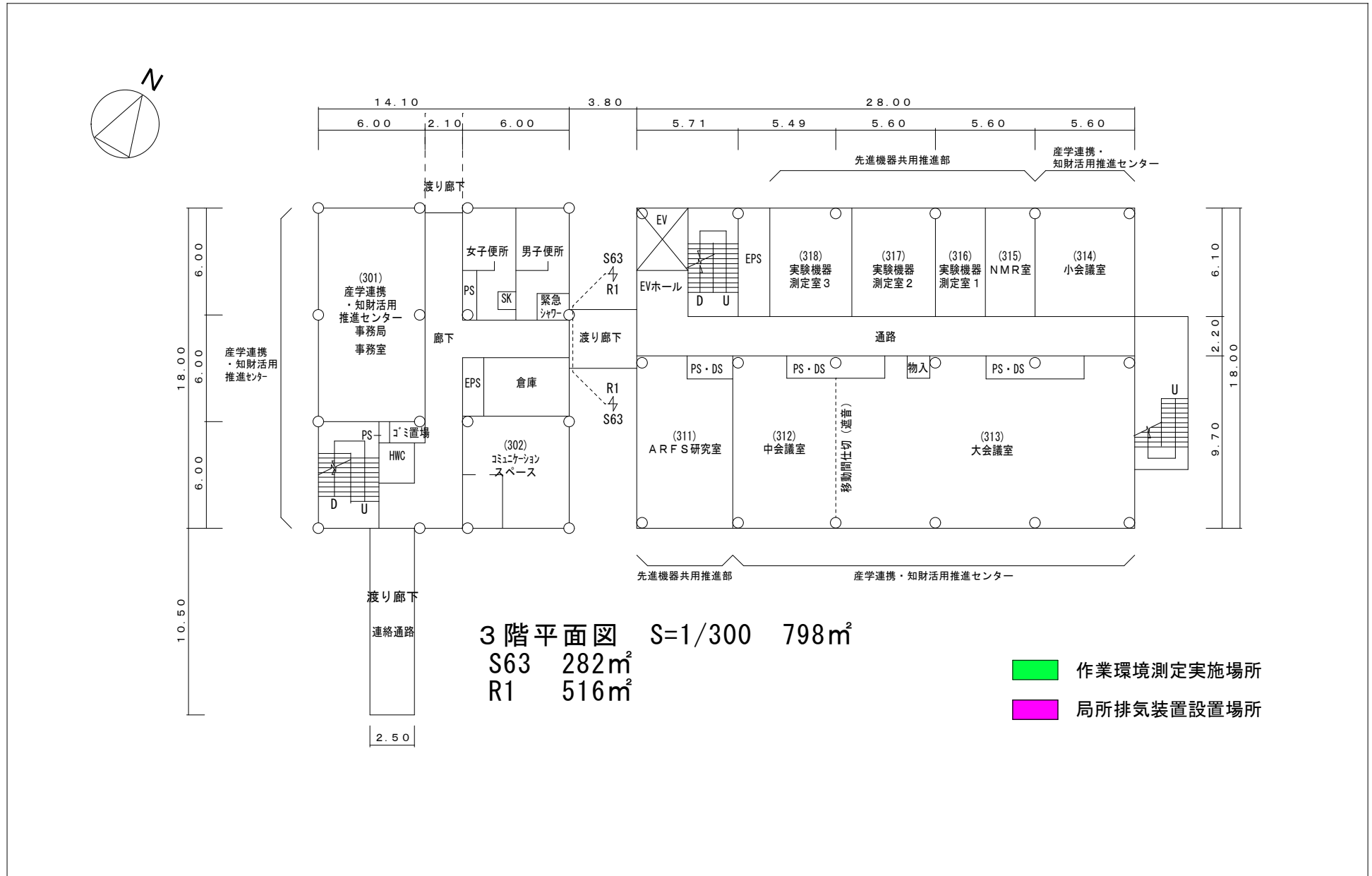


学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	037

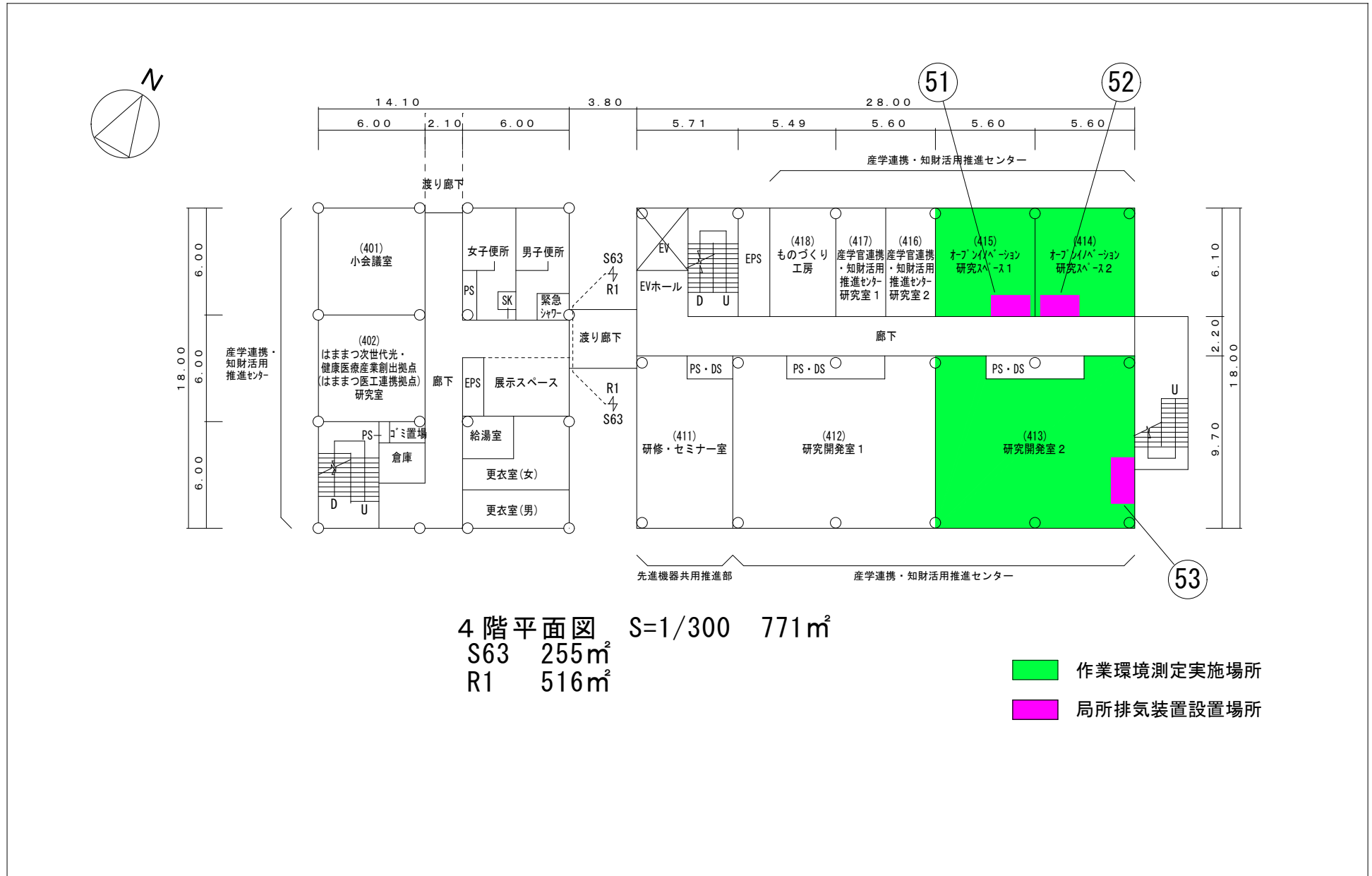


棟別平面図

学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	037



学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	037

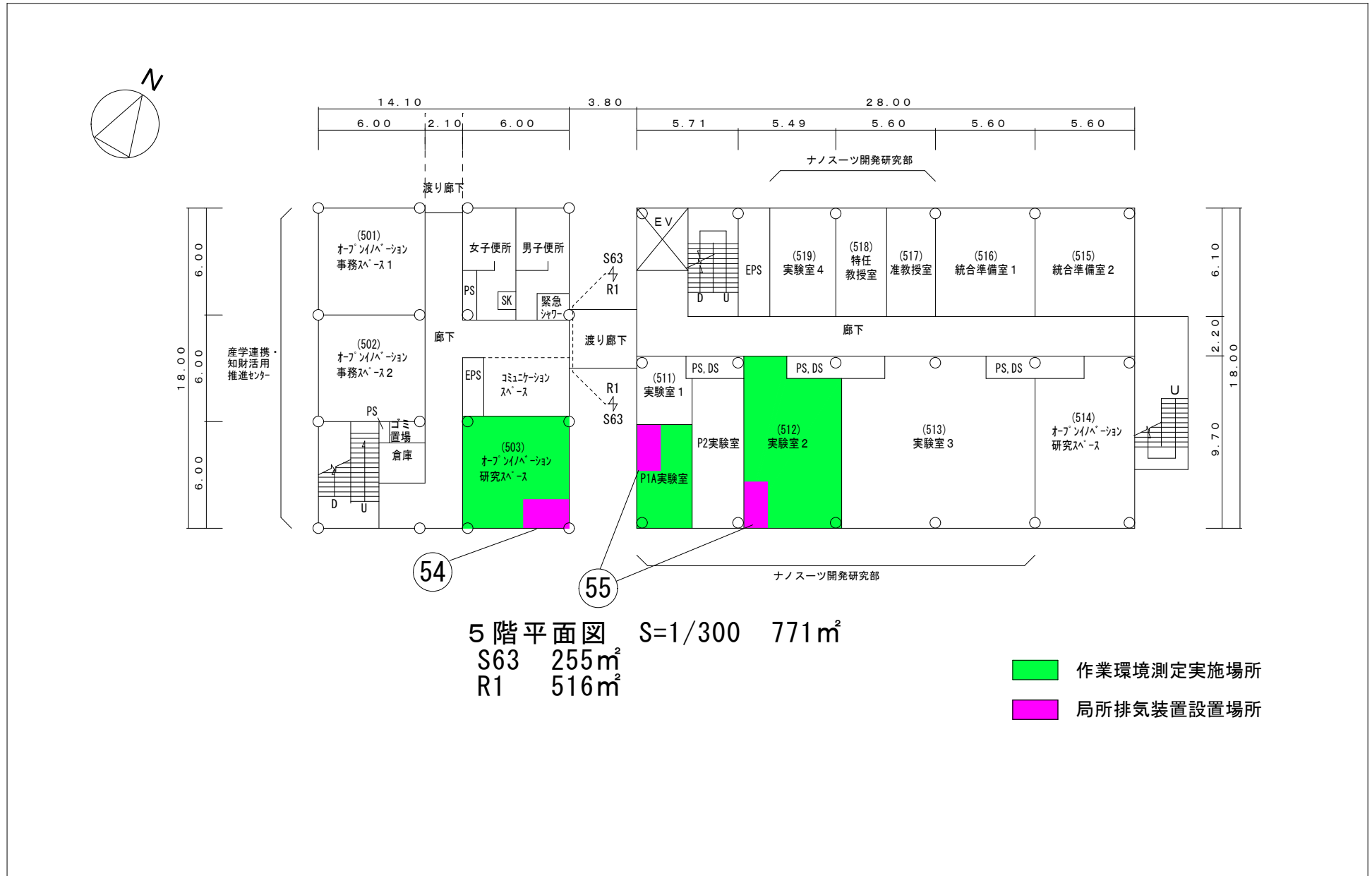


4階平面図 S=1/300 771m²
 S63 255m²
 R1 516m²

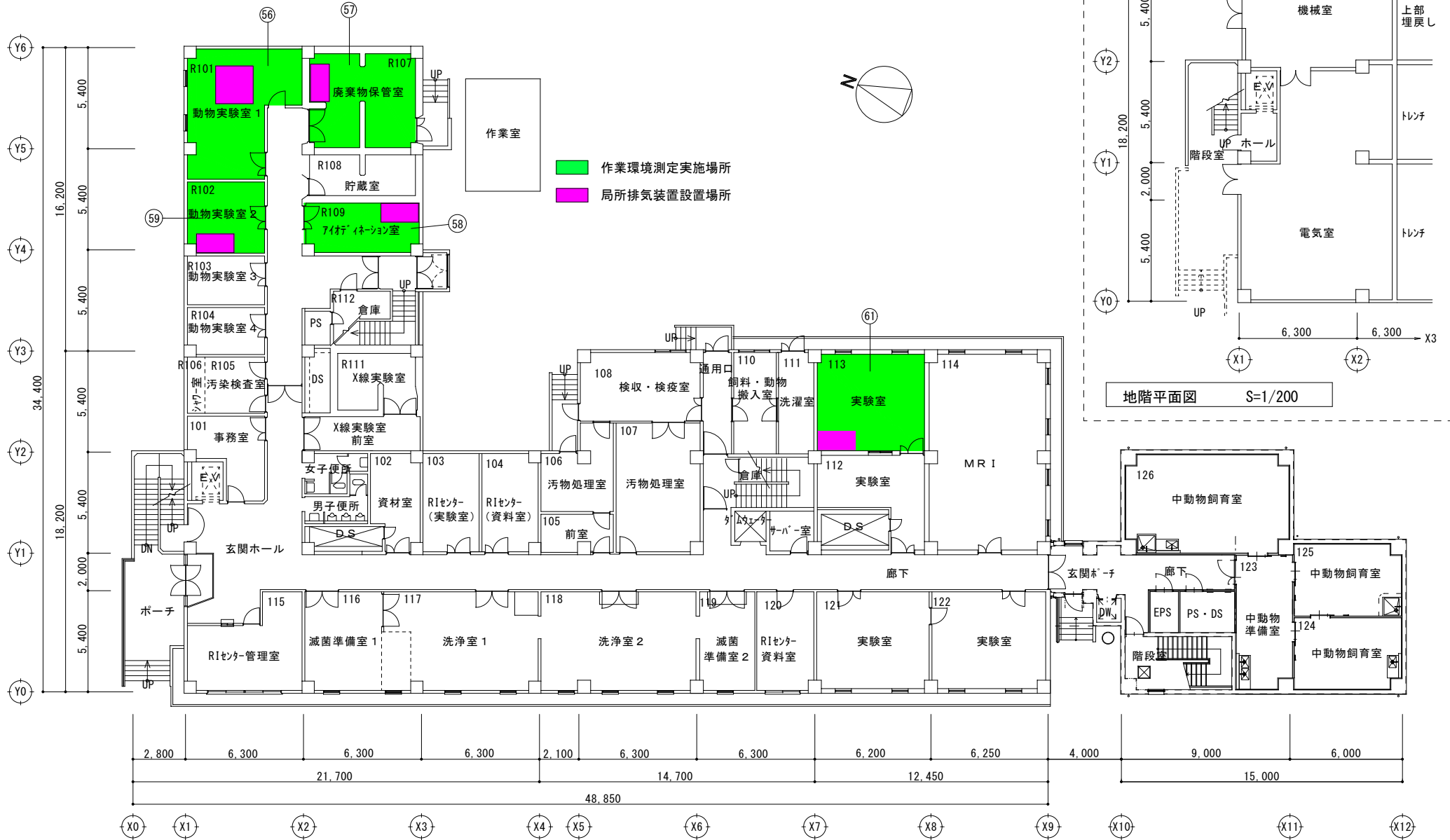
- 作業環境測定実施場所
- 局所排気装置設置場所

棟別平面図

学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	037



R I 動物実験施設



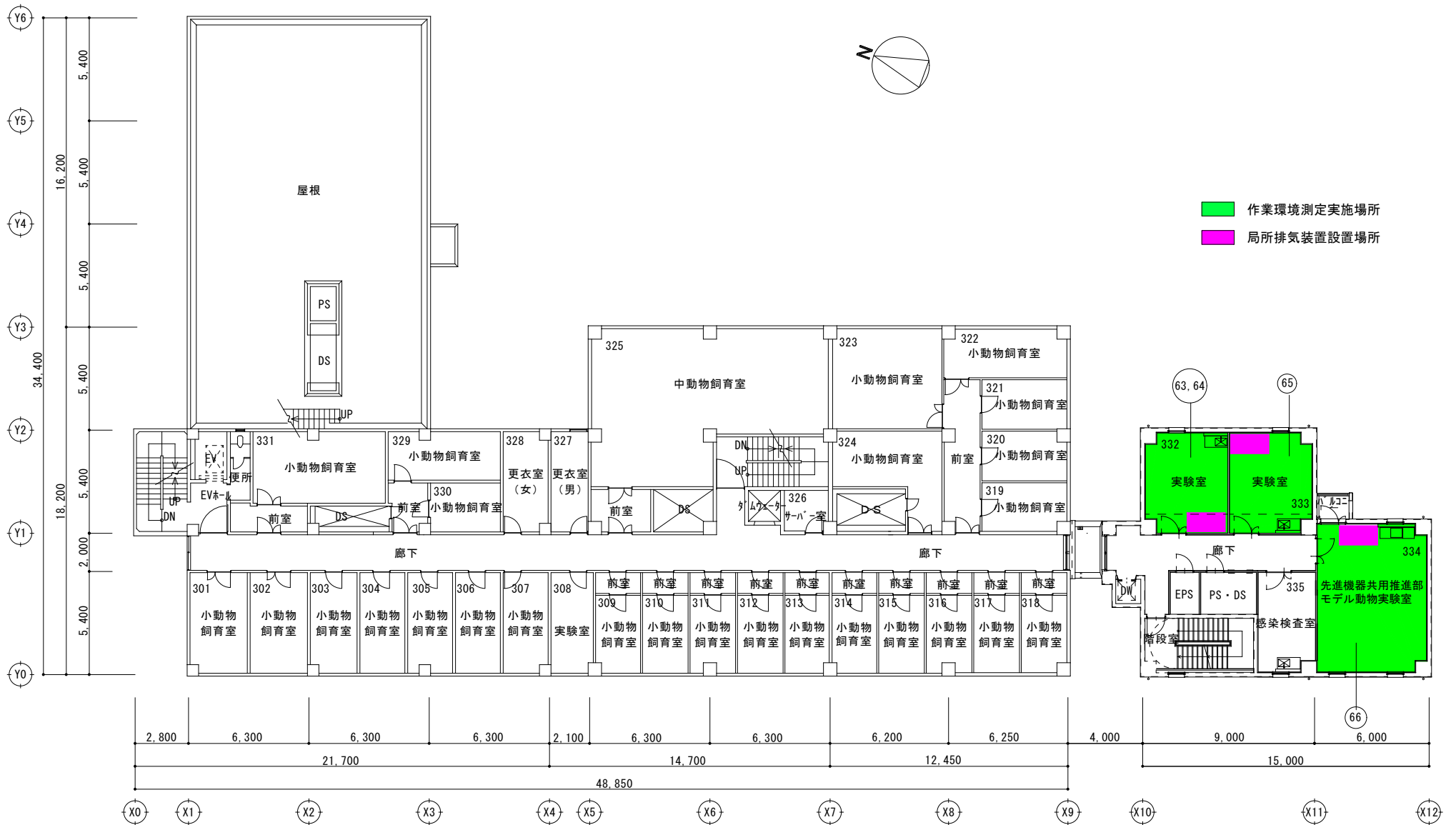
R I 動物実験施設 1階平面図 S=1/200

R I 動物実験施設



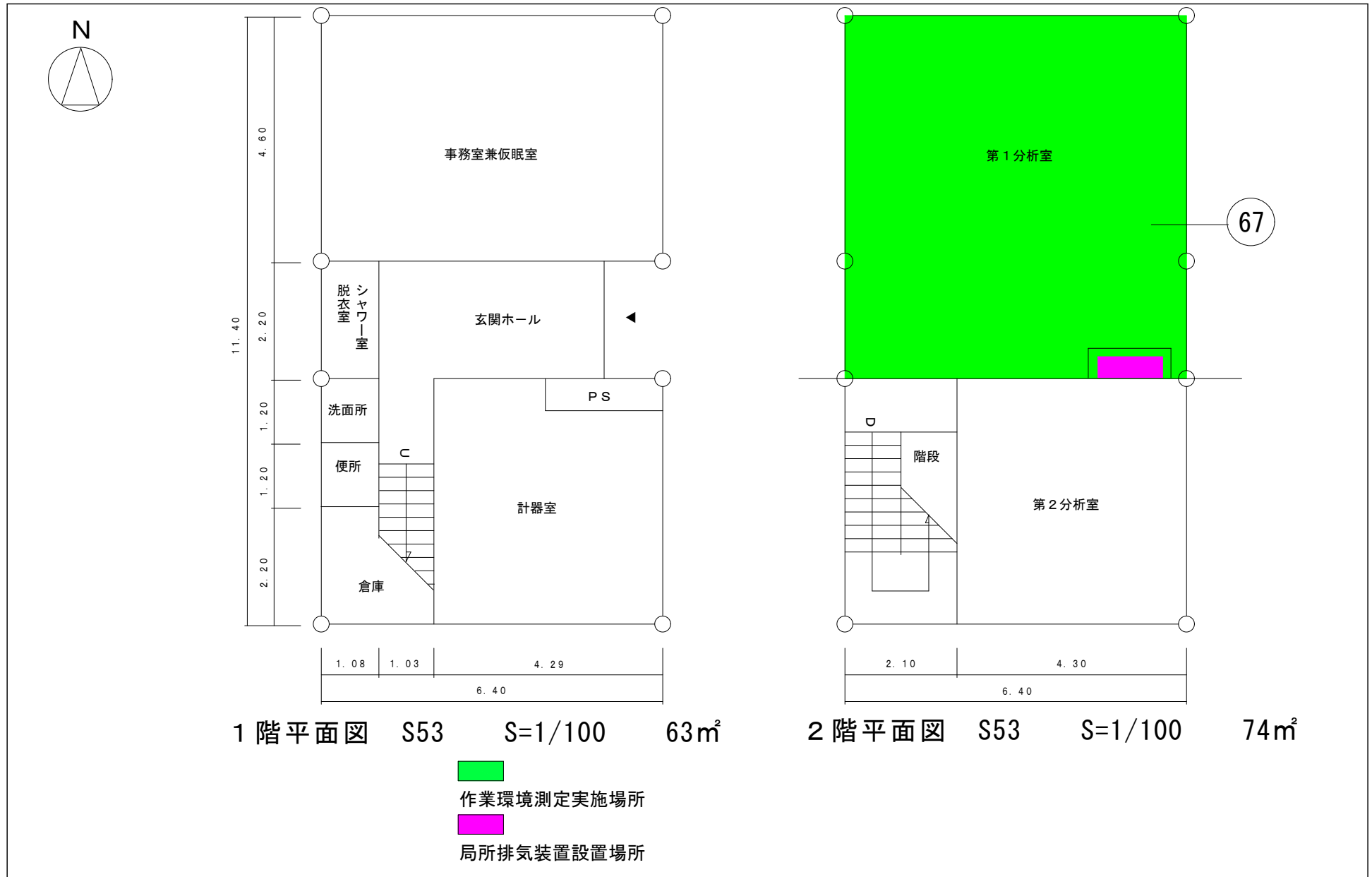
R I 動物実験施設 2階平面図 S=1/200

R I 動物実験施設

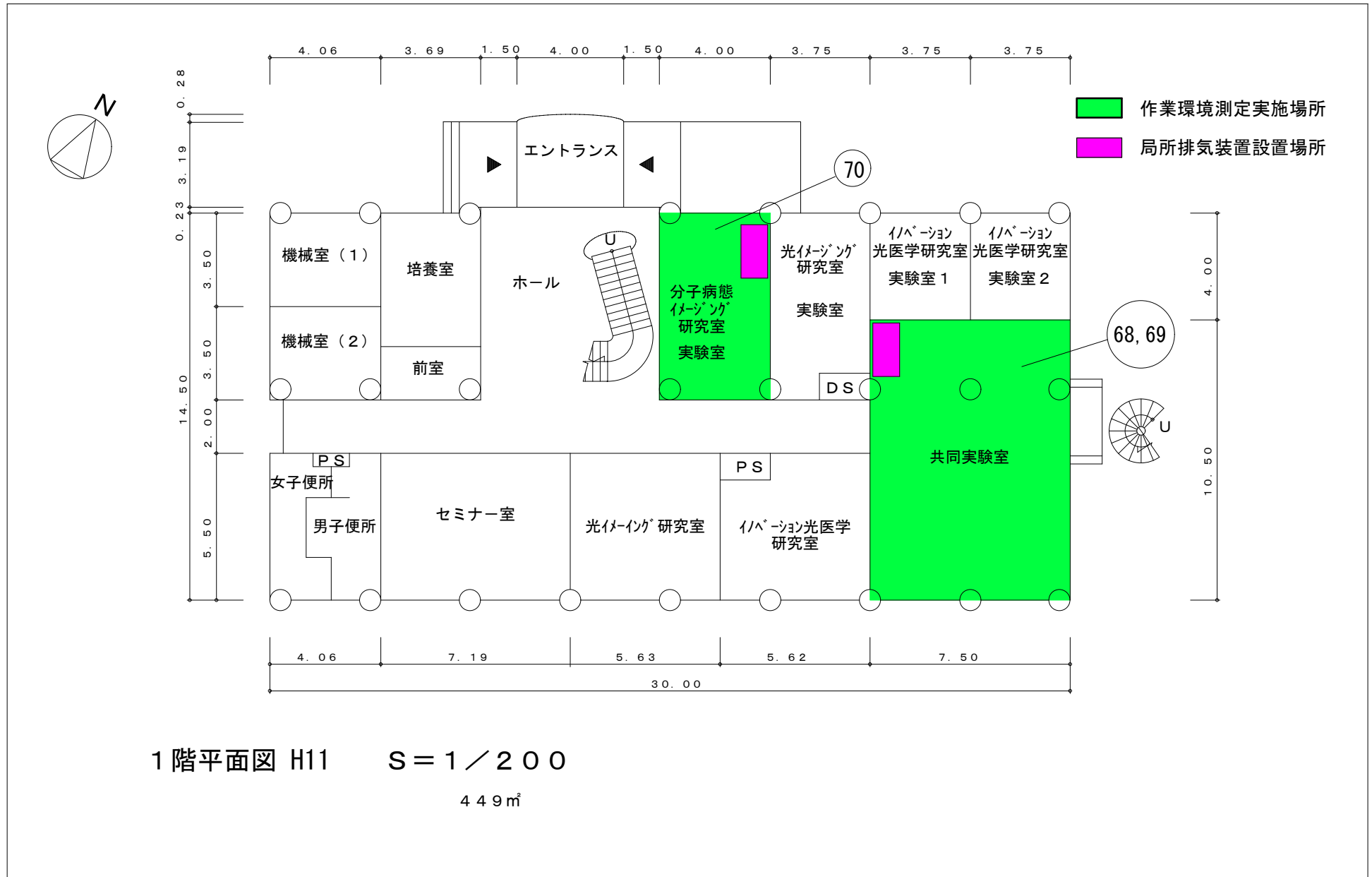


R I 動物実験施設 3階平面図 S=1/200

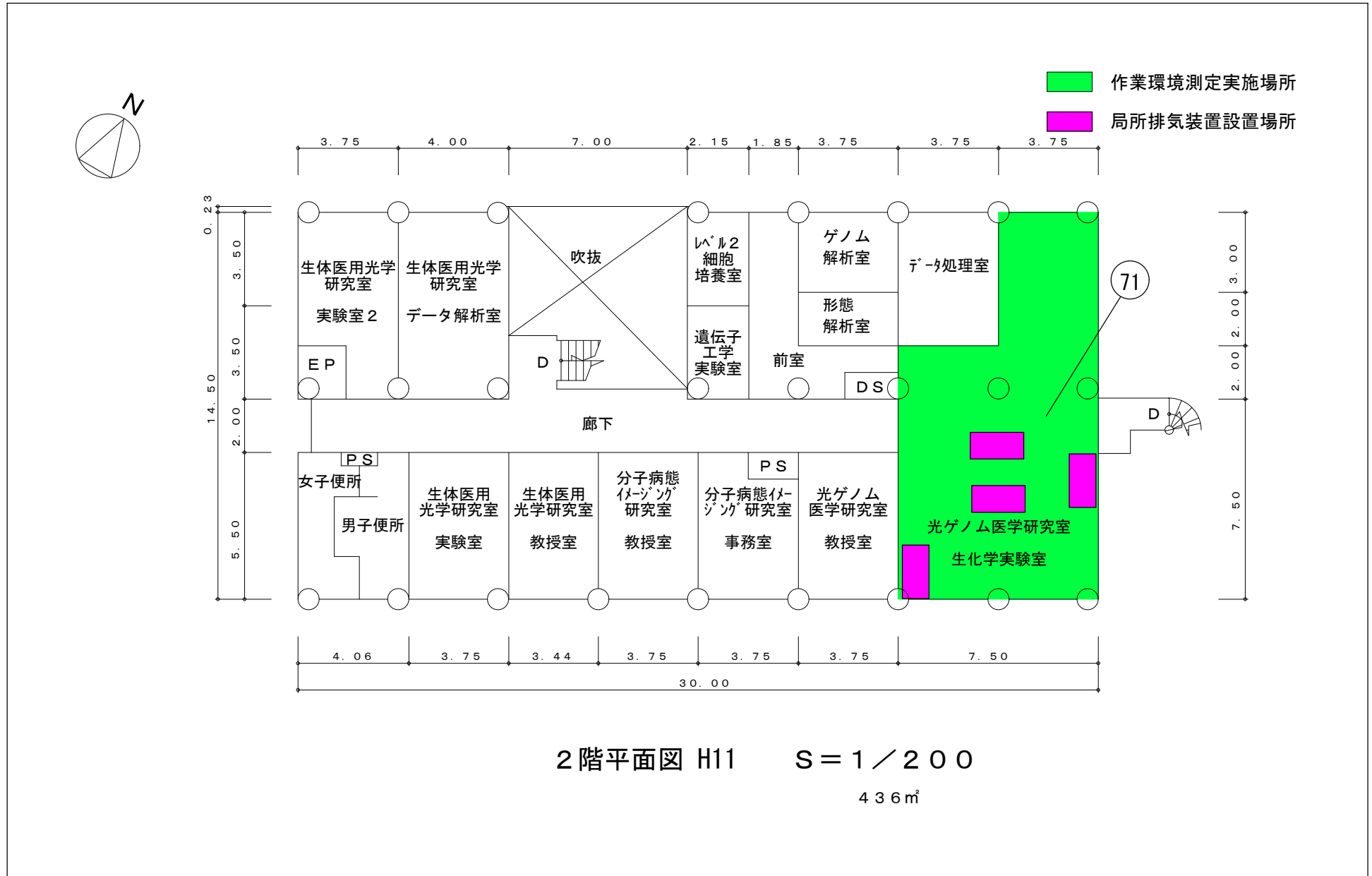
学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	025



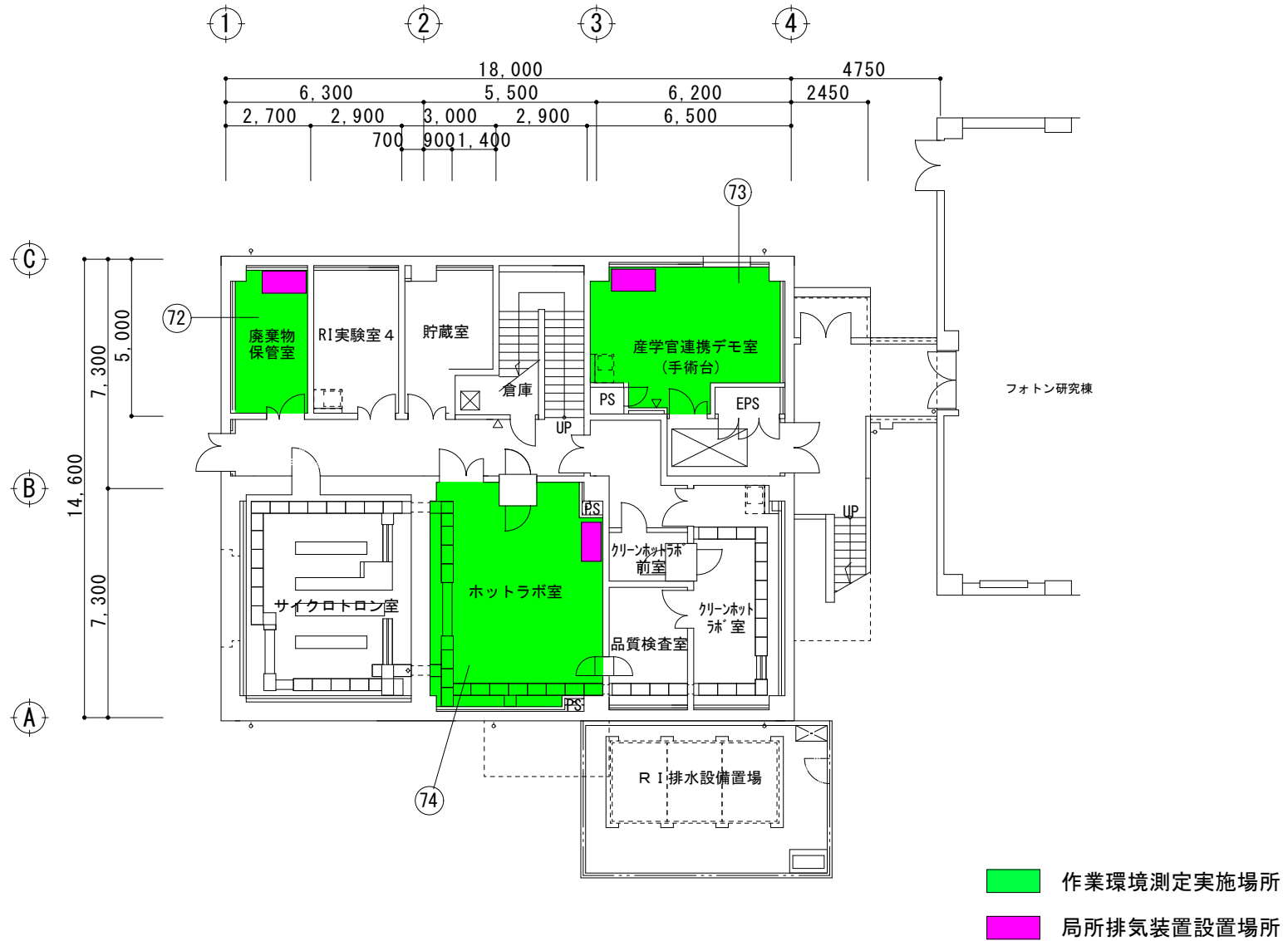
学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	043



学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	043

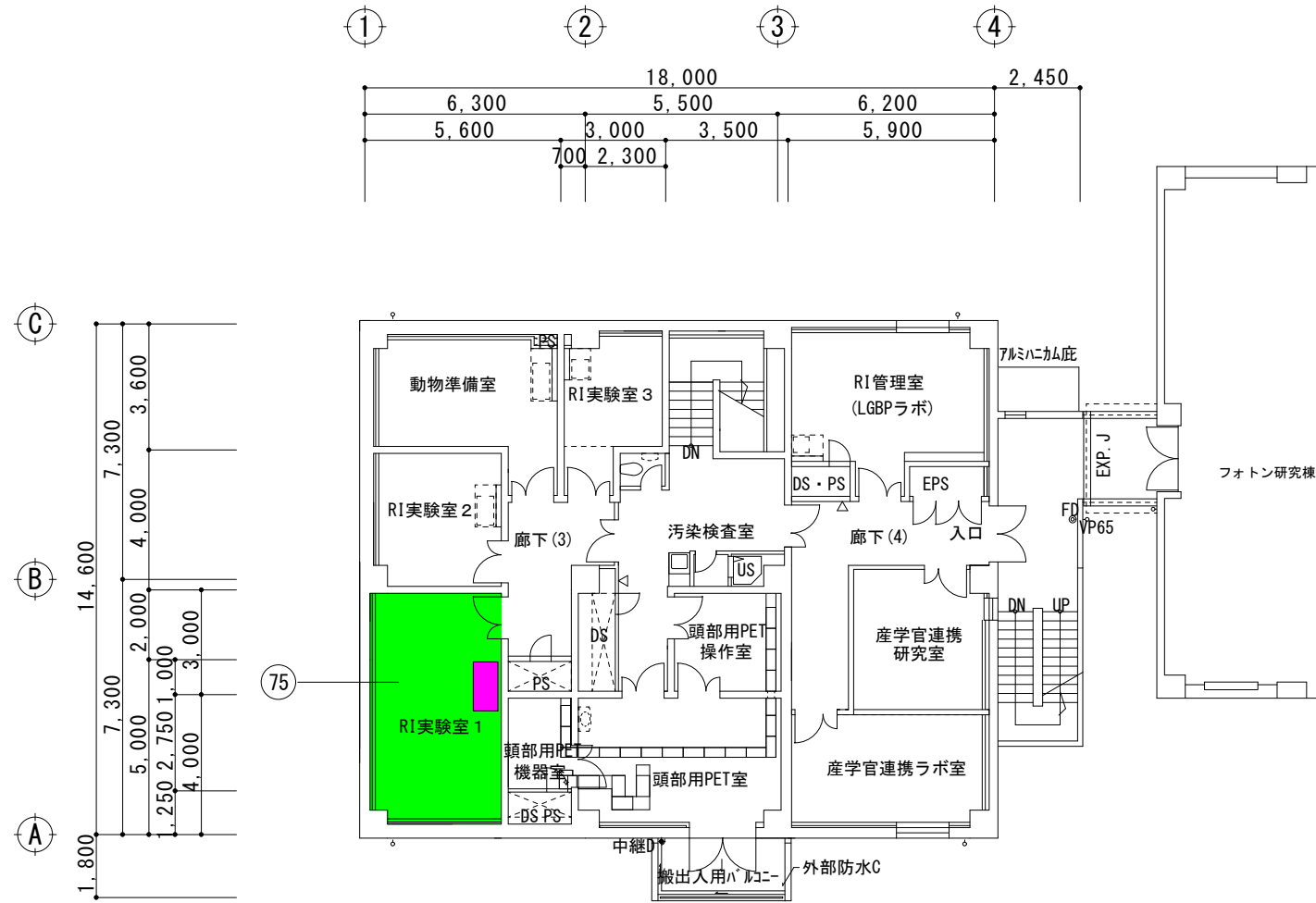


サイクロترون棟



1階平面図 S=1/200

サイクロترون棟

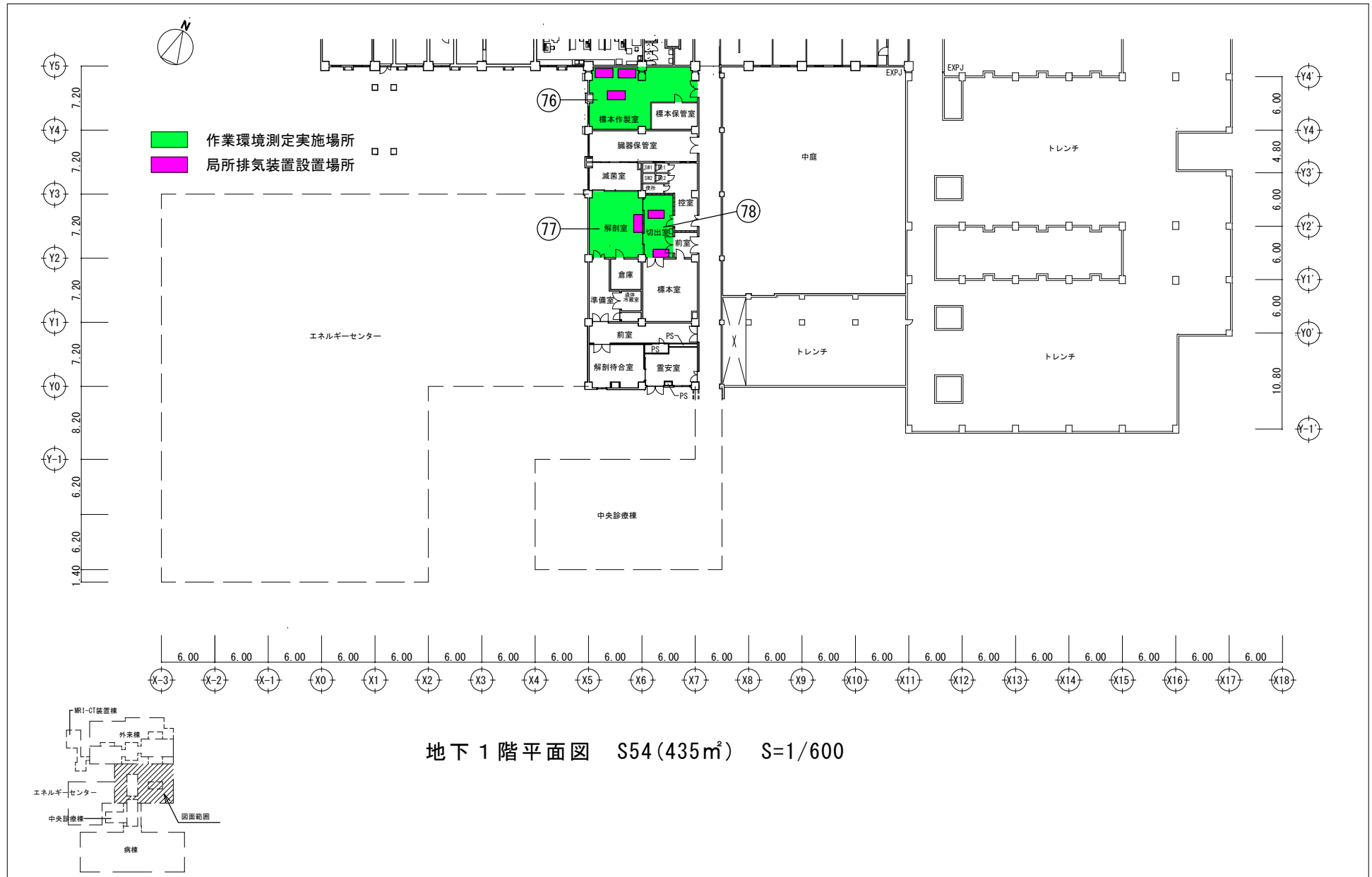


- 作業環境測定実施場所
- 局所排気装置設置場所

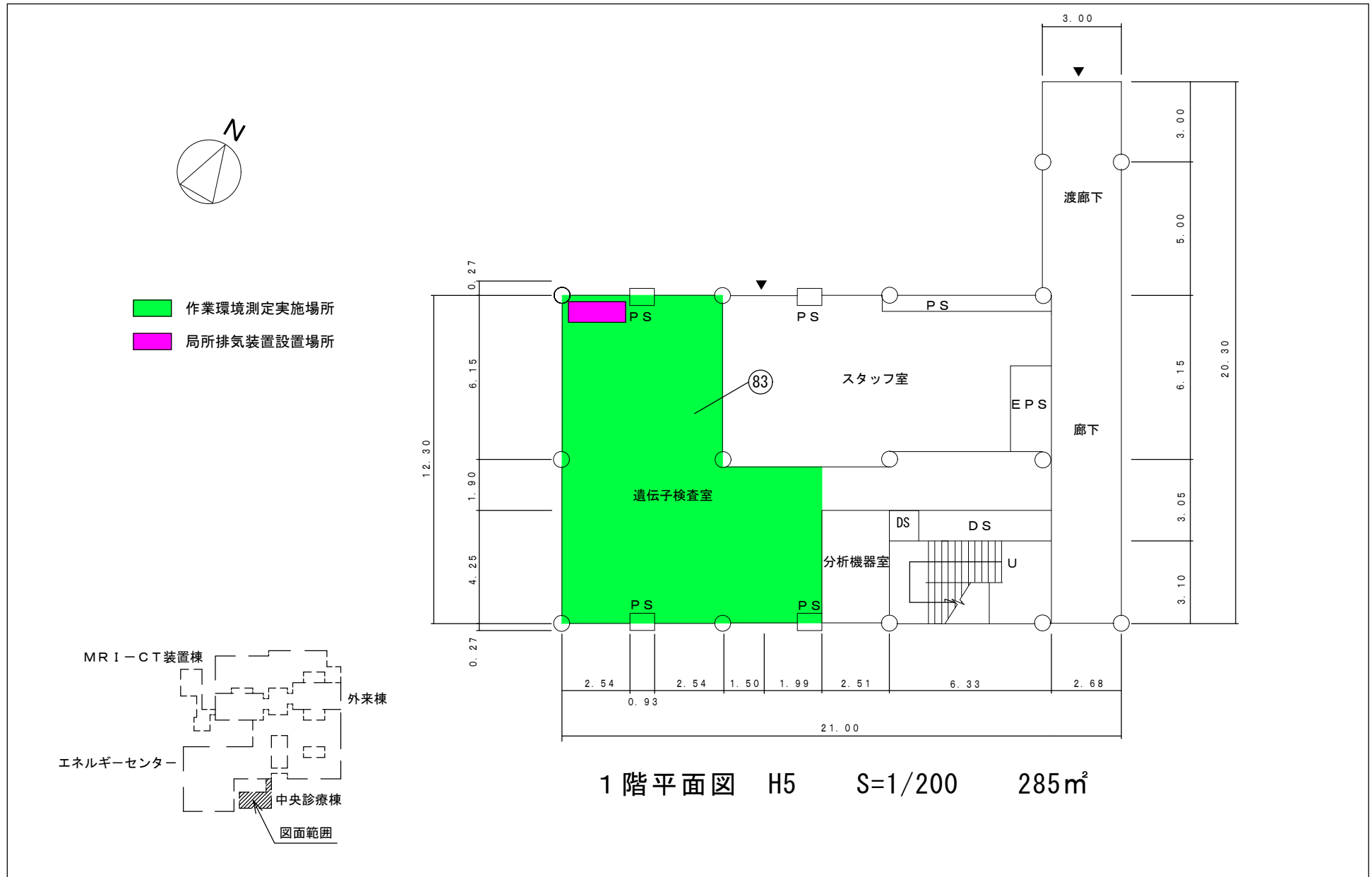
2階平面図 S=1/200

棟別平面図

学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	004

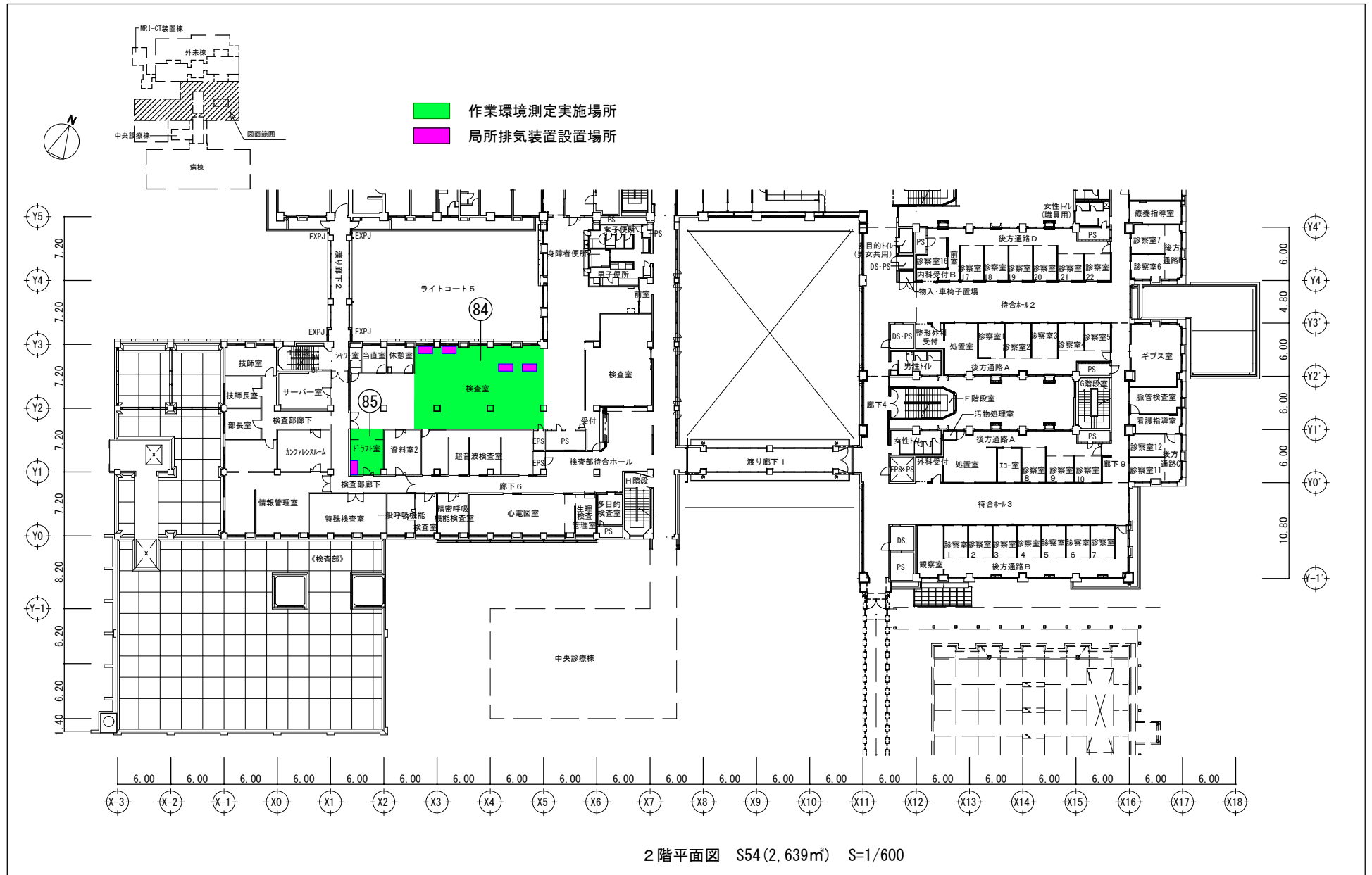


学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	004



棟 別 平 面 図

学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	004



学校番号	学校名	団地番号	団地名	棟番号
0412	浜松医科大学	001	半田団地	004

